

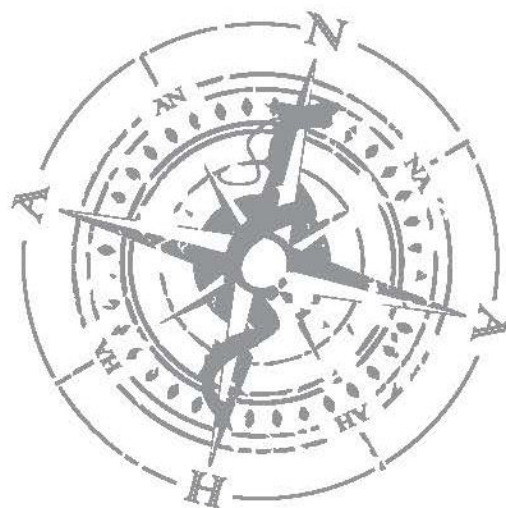
NAHA City Design Compass

みんなで継承

みんなで作る

亜熱帯庭園都市なはの景観

那覇市公共デザインマニュアル



目次

那覇市の景観ビジョン	1
デザインマニュアルの体系について	2
序章	3
■公共デザインマニュアルの目的	
■公共デザインマニュアルの目標	
■上位計画について	
■景観計画と公共デザインマニュアルの関わり	
■公共施設の維持管理	

種別デザインマニュアル

1. 公園・緑地	10
1-1 園路・広場【公共コラム：園路の移動等円滑化について】	11
1-2 修景施設	14
1-3 植栽【公共コラム：公園樹木の維持管理】	16
1-4 建築施設	18
2. 道路	20
2-1 交差点	21
2-2 歩道橋	23
2-3 法面・擁壁【公共コラム：モノレール視点からの景観】	25
2-4 トンネル	27
2-5 バス停	28
2-6 道路照明・電柱	29
2-7 舗装【公共コラム：雨水の浸透（透水性舗装などの活用）、 視覚障がい者誘導用ブロック（通称：点字ブロック）について】	30
2-8 植栽【公共コラム：地域住民の維持管理活動による景観形成】	34
2-9 交通広場	37
2-10 自転車通行空間	38
2-11 橋梁【公共コラム：橋桁下の有効活用】	40
2-12 その他（歩車道分離施設・ストリートファニチャー）	42

3. 水辺空間	44
3-1 護岸	45
3-2 プロムナード	46
3-3 親水広場	48
3-4 多自然川づくり	49
3-5 付帯施設【公共コラム：防護柵の維持管理】	51
3-6 海岸	53
3-7 遊水地	55
4. 公共建築物	56
4-1 玄関アプローチ	57
4-2 色彩	58
4-3 屋根	59
4-4 壁面【公共コラム：建築物の増築への対応】	60
4-5 屋外設備	62
4-6 塀・生け垣	63
4-7 屋上・壁面緑化【公共コラム：内部空間の緑化の形成】	64
4-8 駐車場	65
5. 公共サイン	66
5-1 安全・安心への配慮【公共コラム：色彩への配慮、公共サインの維持管理】	67
5-2 統一性への配慮	70
5-3 伝統的な素材の活用	71

那覇市の景観ビジョン

—まちづくりの将来像—

なはで暮らし、働き、育てよう！ 笑顔広がる元気なまち NAHA
～みんなでつなごう市民力～

「第5次那覇市総合計画」より



—景観づくりの理念—

めざす
景観

みんなで継承、みんなで作る
「亜熱帯庭園都市」なはの景観

「那覇市景観計画」より



この理念の実現に向け、以下5つの基本目標をかかげています。

1. 固有の風土(亜熱帯固有の水・緑・微地形変化など)をいかした景観をつくる
2. 固有の歴史・文化(王都)を守り、いかす景観をつくる
3. 国際的な交流・交易、観光都市機能を持つ、県都として風格のある景観をつくる
4. 地域の資源や生活文化などをいかした景観をつくる
5. 市民との協働による景観づくりの活動を広げる

デザインマニュアルの体系について

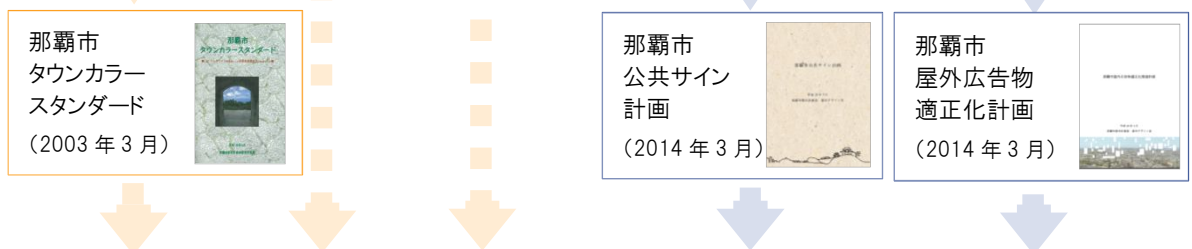
本デザインマニュアルシリーズは、法や条例などの基準・ルールを基に、建築やサイン、公共の構造物の分野において、周辺景観と調和のとれた整備事例や目指すデザインのあり方を示したものです。

建築やサイン、公共の構造物などの新築・新設・改修時に、よりよい発想と創意工夫のヒントとして活用してください。

基準・ルール



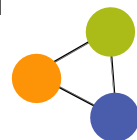
目指すべき方向性



事例集・手引書



デザインマニュアルシリーズの連携による
“「亜熱帯庭園都市」なはの景観”を創出



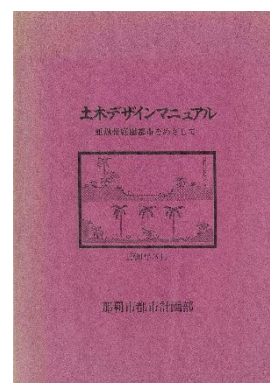
序章

■公共デザインマニュアルの目的

「土木デザインマニュアル」は策定から約30年が経過しており、社会状況等の変化や現状の課題に即した事例に対応していく必要があることから、同マニュアルの改定を行う事となりました。

2004年（平成16年）に制定された景観法を受け、「那覇市景観計画」では景観づくりの理念『みんなで継承、みんなでつくる「亜熱帯庭園都市」なはの景観』を設定しており、「那覇市景観計画景観ガイドライン（以下「景観ガイドライン」という）」では、那覇市全域に対し、共通のガイドラインとして建築物及び工作物に関する修景のポイントを示しています。

「公共デザインマニュアル」は「建築デザインマニュアル」と「サインデザインマニュアル」に続く一連のものであり、那覇市の景観形成基準の位置づけや修景ポイントを補完する手引きとして位置づけて作成しています。



土木デザインマニュアル
(1990年)

「公共デザインマニュアル」とは

公共建築物や工作物等の設計に関わる設計士や行政、民間事業者等が、那覇らしい公共建築物や工作物等のあり方を示し、それぞれの立場から都市景観の向上を図るための手引書です。

■公共デザインマニュアルの目標

改定版の「公共デザインマニュアル」では、現行の「土木デザインマニュアル」における土木デザインの目標や設計の考え方等を踏襲し、現状の課題に即した公共デザイン事例を取りまとめます。

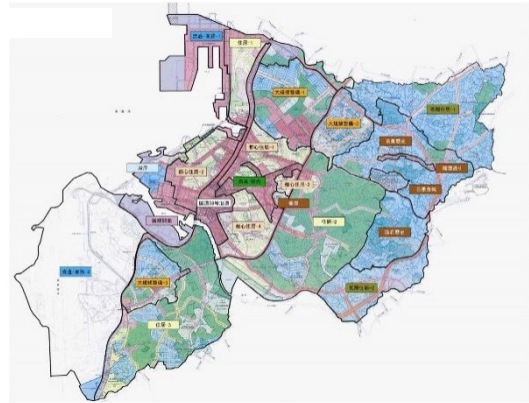
「亜熱帯庭園都市」なは 人・自然にやさしい空間づくり

亜熱帯の自然と歴史・文化が感じられ、地域における景観づくりに調和した、人や自然にやさしい空間づくりを目指します。

■上位計画について

【那覇市景観計画】

景観法第8条に基づき、地域固有の良好な景観の形成を推進するための基本事項を定めた計画です。景観計画の目標や地域特性による区域区分の設定、建築物等の形態意匠などの基準や行為の制限に関する事項などを定めています。



エリア区分図 「那覇市景観計画」P57 参照

【那覇市景観計画景観ガイドライン】

景観づくりの主役である市民をはじめ、事業者及び各行政機関を含めた方々に対し、「那覇市景観計画」で示した良好な景観形成に関する方針や景観形成基準などについて、共通の認識を持つことができるよう、図や写真を用いて解説しています。

【那覇市タウンカラースタンダード】

那覇市では、『亜熱帯庭園都市の彩りをきわだたせるコーラルホワイトのまちづくり』をテーマに亜熱帯島嶼地域の自然環境、特色豊かな文化風土をいかした色づかいによって、美しく個性ある景観形成を目指しています。

「那覇市タウンカラースタンダード」は、那覇市全域のすべての建造物を対象とし、建造物以外にも、都市景観を形成する土木施設などもその対象となっています。

地区の性格に応じてふさわしい色を設定するためのエリア区分を行い、各エリアに基づく配色イメージや基調色の範囲等について示すことで都市レベルにおける統一感の創出を図ります。

▼「那覇市景観計画」、「那覇市景観計画景観ガイドライン」、「那覇市タウンカラースタンダード」に関するホームページ



詳しくはこちらをご覧ください



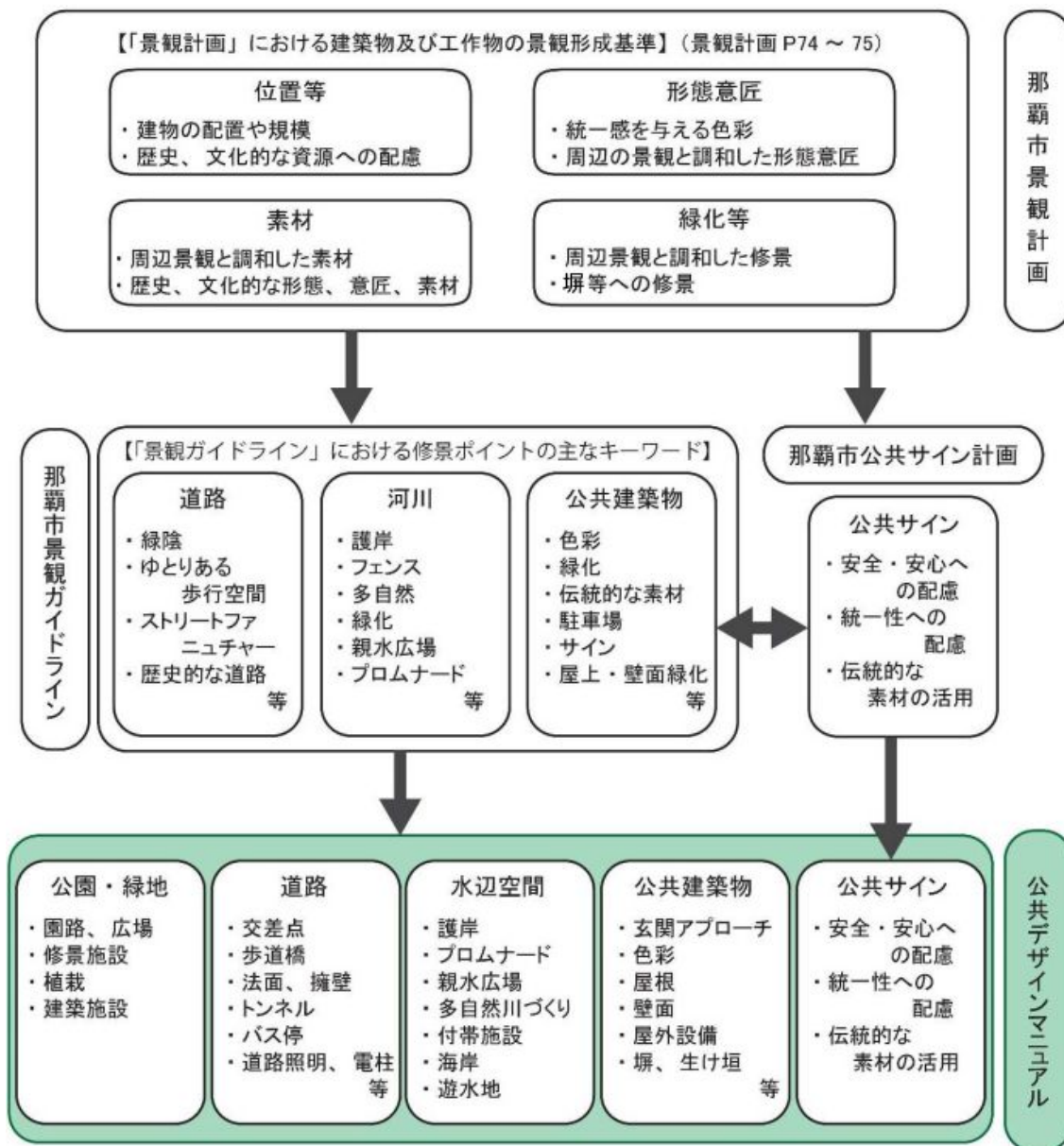
那覇市景観行政について

検索

<https://www.city.naha.okinawa.jp/kurasitetuduki/collabo/tosi/dezain/keikangyousei.html>

■景観計画と公共デザインマニュアルの関わり

「公共デザインマニュアル」は、「景観ガイドライン」で示す全エリア共通の景観形成基準の位置づけや修景ポイントを補完する手引きとして位置づけることから、公共施設における景観形成基準に関する部位と「景観ガイドライン」における修景ポイントのキーワードを抽出し、「公共デザインマニュアル」で重要視する要素をとりまとめます。



■公共施設の維持管理

公共施設は

道路や公園、学校、公営住宅など様々な施設があり、子どもからお年寄りまで多くの方が利用する場所となっています。



そのままにしておく

破損や老朽化した建物や道路、上下水道等の公共施設を適切な維持管理や修繕、更新などをせず、そのままにしておくとは重大な事故や災害等に繋がる懸念があります。



公共サインの剥離



根上りによる歩道の剥離



公園東屋の不法占拠

そのために

重大な事故等を回避するには、公共施設の劣化や損傷等の状況を把握する点検、診断を行うことが望まれます。そのため、日常における清掃や点検、保守等の維持管理活動に取り組むこととします。また、地域住民や企業等と連携し、維持管理活動を行うことで、安全・安心なまちづくりを行うことができます。



台風による景観への影響

沖縄県は、台風の被害を受けやすい地域であり、台風の通過後は、樹木の倒壊やゴミ等が散乱するなど、災害による景観への被害も見られます。

そのため、台風が襲来する前に安全性の確認や対策等を行うことが重要となりますが、日常における維持管理や清掃活動等を行うことで、台風による被害の影響を少なくすることが可能となります。

台風通過後における樹木の倒壊やゴミ等の散乱の撤去については、早急に取り組むこととします。



ゴミの散乱



樹木の倒壊



倒壊樹木の散乱

施設整備の優先化

公共施設の安全性や快適性を確保するには、効率的で効果的な事業を実施し、計画的な更新や改修により長期間の使用に耐えうる施設にしていく必要があります。そのため、今後、改修等を行う公共施設においては、維持管理計画を作成し、施設評価を行い、公共施設整備の優先化を図りましょう。





種別デザインマニュアル

- 1 公園・緑地
- 2 道路
- 3 水辺空間
- 4 公共建築物
- 5 公共サイン



1. 公園・緑地

公園・緑地を構成する重要な要素（園路・広場や修景施設、植栽など）に分類し、公園や緑地がもたらす魅力や周辺環境を潤す自然景観の観点から配慮すべき事項の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

良好な公園・緑地を形成するため下記の事項に配慮し、街並みと調和した亜熱帯の緑豊かなデザインを心がけることが重要です。

【良好な公園・緑地を形成するための事項】

(1) 自然を守り自然と調和した緑豊かな空間づくり

- ①身近な自然環境の保全を図ると共に自然に親しめる空間として活用を図るなど、メリハリあるバランスのとれた整備に配慮しましょう。
- ②地形改変はできるだけ少なくし、現状の地形に調和させるよう工夫を図りましょう。
- ③人工構造物は、周辺景観と調和させ、風景の一部として違和感ないデザインとし、自然素材や周辺景観に馴染む素材を活用しましょう。
(※「2.道路_2-3.法面・擁壁」参照)
- ④沖縄の風土特性に配慮した『「亜熱帯庭園都市」なは』のイメージを演出する植栽に努めましょう。

対象項目

- 1-1 園路・広場
- 1-2 修景施設
- 1-3 植栽
- 1-4 建築施設

(2) 地域の顔となる空間づくり

- ①自然林や樹木などの自然資源、御嶽^{※1} やカー^{※2} などの歴史文化資源などを取り込み活用しましょう。
- ②伝統行事、特産物などをデザインに活用する等、地域の個性を創出しましょう。但し、具象的で華美なデザインとならないよう配慮しましょう。
- ③地場産の素材の積極的な活用を図りましょう。
※1 御嶽(うたき):沖縄で神を祀る聖所です。※2 カー:沖縄で井戸のことを言います。

対象項目

- 1-1 園路・広場
- 1-2 修景施設
- 1-3 植栽
- 1-4 建築施設

(3) 多様な活動の場としての空間づくり

- ①地域の求める導入施設(機能)を把握し、適切な施設整備に努めましょう。
- ②道路、河川、公共・公益施設、その他のオープンスペースが隣接する場合は、一体的整備に配慮し、機能と空間の広がりを確保しましょう。

対象項目

- 1-1 園路・広場
- 1-2 修景施設
- 1-4 建築施設

(4) 安全・安心で誰もが利用しやすい快適な空間づくり

- ①ユニバーサルデザインに配慮した施設づくりに努めましょう。
- ②歩きやすい園路づくりに努めましょう。
- ③日陰スペース(緑陰など)の確保や遮熱性舗装の活用など、沖縄特有の強い日差しや暑さ対策に努めましょう。
- ④夜間照明の充実、見通しの良い空間の確保に努めましょう。

対象項目

- 1-1 園路・広場
- 1-2 修景施設



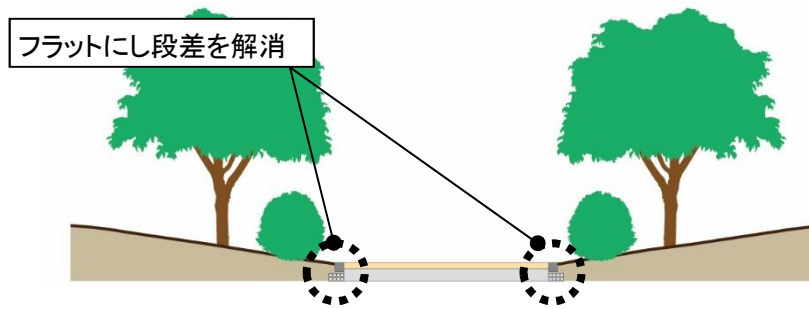
1-1 園路・広場

デザインのPoint

- ◆ 園路や広場はシンプルな基本構造とするとともに、ユニバーサルデザインに配慮する事を原則としましょう。
- ◆ 園路幅員は、各施設の機能や配置、利用方法などを踏まえた幅員とし、周辺の景観に配慮した整備にしましょう。
- ◆ 園路縁石は段差を解消しフラットにする事で、周辺景観に馴染ませると共に、高齢者や障がい者等にやさしい園路となります。
- ◆ 園路舗装は、透水性のアスファルト舗装とすることで水たまりがでにくくなります。また、園路の位置づけによって他の素材を用いたり、カラー化を用いたりするなど、工夫を図りましょう。
- ◆ カラー化を図る場合は、できる限りアースカラー※を用い、周辺景観に馴染みやすい色合いとしましょう。
- ◆ メインエントランス広場は、わかりやすいアプローチとなるようゲート性を創出するため、シンボリックな空間となるよう工夫を図りましょう。なお、公園内施設デザインとの調和に配慮したデザインとしましょう。
- ◆ 広場は、園路舗装と異なる舗装や芝生とする事で、単調になりがちな園路舗装にメリハリを与え、たまり空間として視覚的にイメージさせることに寄与します。
- ◆ 公園の出入口はオートバイ等の侵入防止に配慮するとともに、車いすやベビーカーが円滑に通行できる計画としましょう。

※アースカラー：大地(土や砂)・木(植物)などの主に茶系の色などの色彩のことを言います。

縁石部をフラットにし、段差を解消した園路



縁石を設けず段差を解消した事例
【富山県：富岩運河環水公園】



縁石部をフラットにし、段差を解消した事例
【本部町：海洋博公園】

ジョギングやウォーキングコースとして配慮した園路



利用者の負担軽減のため、ゴムチップ舗装を行った事例
【那覇市：新都心公園】



利用者の負担軽減のため、ゴムチップ舗装を行った事例
【那覇市：奥武山公園】

エントランス



赤瓦の門構えで沖縄らしい雰囲気を出した事例
【那覇市：小禄金城公園】



エントランス部を花壇等で緑化を演出し、良好な自然景観を形成した事例【埼玉県：みさと公園】

進入路



オートバイの進入を防ぐように配慮した進入路
【福岡県：天神中央公園】



オートバイの進入を防ぐように配慮した進入路
【東京都：清水坂公園】



広場



公園の中央部に配置された芝生広場。管理が行き届いており、芝生の養生時期も設けている【東京都：南池袋公園】



駅の隣に整備された公園。広場の舗装面が白色を基調とし、周辺の景観と調和を図っている【埼玉県：大宮駅周辺】

那覇市の景観ビジョン

デザインマニュアルの体系について

序章

公園・緑地

道路

種別デザインマニュアル

水辺空間

公共建築物

公共サイン

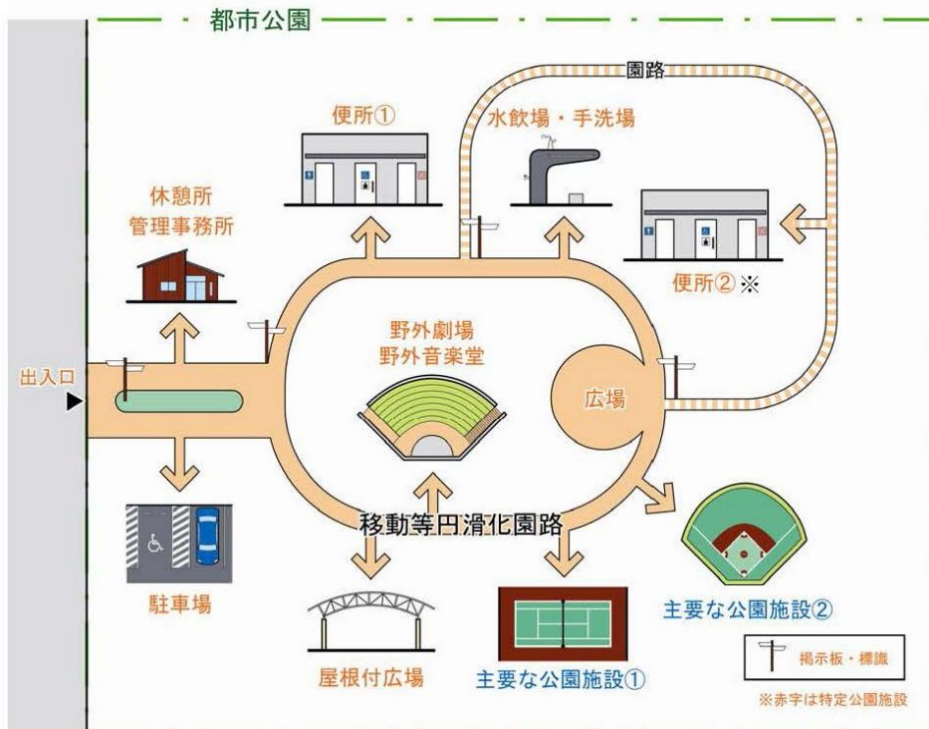
公共コラム

園路の移動等円滑化について



高齢者や障がい者等の移動や施設利用の利便性、安全性を向上するため、都市公園の出入口及び駐車場から公園施設に至るまでの経路を確保し、当該経路を移動等円滑化園路とする必要があります。各施設に至るうえで最も一般的と認められる経路を移動等円滑化するとともに、他の経路についても可能な限り移動等円滑化することが望ましいです。

また、高齢者や障がい者等が、自分のいる場所を把握し、目的地に行きやすいように、移動等円滑化園路を連続した明快で簡潔な動線や、わかりやすい空間構成とすることが重要です。



都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂版】(平成 24 年 3 月 国土交通省)より

1-2 修景施設

デザインの Point

- ◆ 基本的に遊具を除く人工物のデザインは、景観性、機能性、安全性、維持管理などとのバランスを図りながら、自然(緑)との調和に配慮したデザインとしましょう。また、公園全体として一貫性のあるデザインとしましょう。
- ◆ 遊具はアクセント的に使用することで賑わい感を演出するのに効果的です。但し、鮮やかな色や原色系がよく使用され、目立ち過ぎる面もあることから、周辺の緑(樹木)に納まるよう配慮しましょう。
- ◆ 古くから残る“湧水”や“井戸”などを積極的に取り込み、せせらぎなど修景施設として活用を図りましょう。
- ◆ 隣接する道路や商業施設・公共施設等の施設との境界沿いは、可能な限り進入防止柵は設けず、公園内外になるべく連続性を持たせるよう配慮し、開放的で見通しの良い安全・安心な公園空間を創出しましょう。
- ◆ 進入防止柵等を設ける場合は、周辺の環境に応じて極力存在感を感じさせないデザインとしましょう。また、緑化など他の方法で機能を代替させるなどの配慮に努めましょう。

“湧水”や“井戸”を活用した水景施設



噴水や壁泉、せせらぎ水路が整備され、水に親しみやすい公園づくりを行った事例【金武町：大川児童公園】



水遊びが行えるよう、ポンプを設置している事例【富山県：京坪川河川公園】

開放的で見通しの良い公園



柵を設けず開放的に整備された公園の事例【那覇市：新都心公園】



柵を設けず開放的に整備された公園の事例【豊見城市：豊崎にじ公園】

自然(緑)や周辺景観と調和に配慮したデザイン



周辺の景観に配慮し、茶系の遊具とした事例
【宜野湾市: 宜野湾海浜公園】



手摺りに木材を活用することで、周辺の自然景観に配慮した事例
【東京都: 清水坂公園】

一貫性のあるデザイン



公園全体の色彩を茶系とし、暖かみを感じることができる空間を演出した事例【富山県: 富岩運河環水公園】



同様のデザインと等間隔に配置された車止め
【那覇市: 旭ヶ丘公園】

存在感を感じさせない柵類や他の方法で代替させた例



植栽や石材を活用した事例
【東京都: 清水坂公園】



植栽を柵として活用している事例
【富山県: 京坪川河川公園】

那覇市の景観ビジョン

デザインマニュアル
の体系について

序
章

公園・緑地

道路

種別デザインマニュアル

水辺空間

公共建築物

公共サイン

1-3 植栽

デザインのPoint

- ◆ 『「亜熱帯庭園都市」なは』として緑豊かで彩りある植栽に努めましょう。
- ◆ 公園(またはエリアやゾーン)の位置づけやテーマを踏まえた樹種の選定や配植に努めましょう。但し、立地箇所や微気象など環境条件には十分に配慮しましょう。
- ◆ 生態系に危険を及ぼす外来種の選定は行わないようにしましょう。
- ◆ 草本類や低木類の植栽は、維持管理の状況など十分な検討を図りましょう。
- ◆ 遮蔽植栽は必要最小限とし、できるだけ見通しが良く明るい空間を形成し、安全・安心な空間を創出しましょう。
- ◆ 地域の景観資源として公園内に残る既存樹木は、積極的に保全活用を図りましょう。
- ◆ 防災の視点による緩衝緑地としての機能・役割も含めた検討を図りましょう。

緑陰の形成



高木による緑陰の創出により、自然を活用した休憩スペースとなっている事例【那覇市：希望ヶ丘公園】



遊具エリアに高木を植栽し、緑陰による自然の屋根を創出した事例【豊見城市：海軍壕公園】

既存樹木やシンボルツリーなど植栽による場の演出



公園のシンボルとなっているガジュマルの木【那覇市：新都心公園】



公園のシンボルとなっているガジュマル群。那覇市都市景観資源にも選定されている【那覇市：高良公園】



環境条件に配慮した植栽



都市部の中で生物多様性に配慮した緑の環境づくりを行った事例
【東京都：南池袋公園】



海側からの潮風を防ぐため、海側に高木を植栽し、その背後に低木や花木を植栽し、環境条件に配慮した事例【糸満市：南浜公園】

花物類(花木・草花など)による賑わいの演出



斜面部を活用し、草花を植栽している事例
【埼玉県：大崎公園】



エントランス広場一面に色とりどりの花を彩り、賑わいを演出している
(イベント時)【本部町：海洋博公園】

公共コラム

公園樹木の維持管理



公園内の樹木は公園全体の景観を形成する重要な施設であり、公園の持つ環境保全機能や防災機能などを支える重要な要素となっています。維持管理を怠ると、隣接する住宅への落ち葉や草木の繁茂等により外からの見通しが悪くなり防犯上の問題が生じるなど様々なことが懸念されます。そのため、隣接する住宅への落葉防止や見通しを確保するための剪定、草刈りなど適正な維持管理を行いましょう。



見通しの良くない事例【那覇市：若狭公園】



見通しの良い事例【那覇市：新都心公園】

1-4 建築施設

デザインの Point

- ◆ 緑豊かな空間に馴染み、落ち着いたイメージでシンプルなデザインとすることを基本とし、台風や塩害に強い構造並びに素材を用いることを基本とします。
- ◆ 歴史景観に配慮が必要な地域では、琉球石灰岩、赤瓦などの沖縄らしい素材を活用しましょう。

休憩施設



木造で屋根を赤瓦にし、歴史文化を感じるつくりとした東屋
【那覇市：首里崎山公園】



パーゴラに植物を絡ませ、緑陰を創出している事例
【那覇市：松山公園】

トイレ



休憩施設と一体化したトイレ。公園のエントランスの役割も果たしている
【那覇市：緑ヶ丘公園】

<第20回 那覇市都市景観賞>



屋上部を緑化することで公園の持つ自然景観に配慮した事例
【那覇市：松山公園】

管理棟



公園のエントランスの役割も果たしている管理棟
【浦添市：浦添大公園】



赤瓦の屋根で沖縄らしさを表現するとともに、園路側に植栽を行うことで公園の持つ自然との調和を図っている事例【那覇市：末吉公園】

展望台



木製で作られている展望台。公園の持つ自然景観と調和を図っている事例【浦添市：浦添大公園】



木目調のデザインで整備された展望台。公園の持つ自然景観と調和を図っている事例【名護市：名護城公園】

その他の建築物



屋上部を緑化することで、公園の持つ自然空間と調和させた建築物
【那覇市：クニダテラス(松山公園内)】
<第19回 那覇市都市景観賞>



公園の持つ自然空間に配慮し、周辺の景観と調和させた建築物
【富山県：富岩運河環水公園】

那覇市の景観ビジョン

デザインマニュアルの体系について

序章

公園・緑地

道路

種別デザインマニュアル
水辺空間

公共建築物

公共サイン

2. 道路

道路を構成する重要な要素（交差点や舗装、植栽など）に分類し、ゆとりと潤いある道路景観の観点から配慮すべき事項の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

良好な道路景観を形成するため下記の事項に配慮し、街並みと調和した亜熱帯の緑豊かなデザインを心がけることが重要です。

【良好な道路景観を形成するための事項】

（1）心地良い歩行空間

- ①歩行空間を可能な限り広く確保し、安全で快適なゆとりある歩行空間の確保に努めましょう。
- ②緑陰が形成された潤いのある歩行空間の創出に努めましょう。
- ③電線地中化、道路標識類の統廃合などスッキリとした歩行空間の確保に努めましょう。
- ④道路構成要素は、デザインの統一に配慮すると共に、周辺景観(風景)に馴染むデザインとなるよう努めましょう。
- ⑤ユニバーサルデザインやバリアフリーに配慮する際は、景観的観点も含めた総合的なデザインに努めましょう。

対象項目

- 2-1 交差点
- 2-2 歩道橋
- 2-4 トンネル
- 2-5 バス停
- 2-6 道路照明・電柱
- 2-7 舗装
- 2-8 植栽
- 2-10 自転車通行空間
- 2-11 橋梁
- 2-12 その他

（2）地域個性や地域資源に配慮した道路線形

- ①地域資源や重要公共施設等をアイストップとするビスタ(見通しの良い景観)に配慮した平面線形(直線)に努めましょう。
- ②進むにつれて変化するシーケンス景観に配慮した平面線形(曲線)に努めましょう。
- ③上り坂では頂上付近にランドマークを配し、下り坂では海など地域資源を眺望できるなど、地形の特徴をいかした縦断線形に努めましょう。

対象項目

- 2-1 交差点

（3）『「亜熱帯庭園都市」なは』のイメージを演出する植栽

- ①道路には可能な限り植栽を施しましょう。
- ②亜熱帯イメージを創出する樹種、地域個性と調和した樹種、在来種を主とした樹種など周辺景観に配慮した樹種選定に努めましょう。樹種選定にあたっては、維持管理しやすい樹種を選定しましょう。
- ③沿道樹木との関連性に配慮した整備を図りましょう。

対象項目

- 2-1 交差点
- 2-8 植栽

（4）沿道空間との一体的な整備

- ①道路残地については有効活用を図りましょう。
- ②公園等の公共施設との一体的整備を図りましょう。
- ③法面等、沿道地形の活用を図りましょう。

対象項目

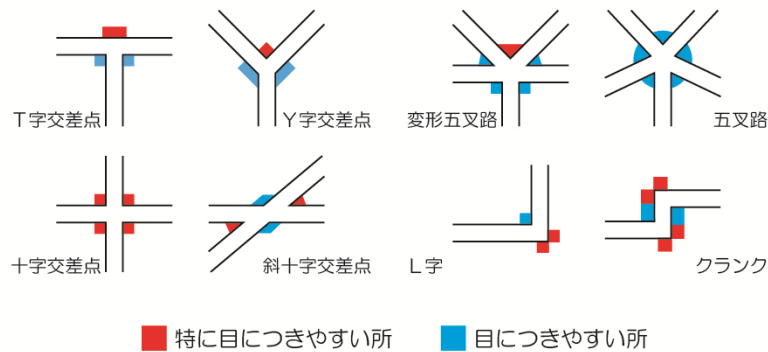
- 2-3 法面・擁壁
- 2-9 交通広場

2-1 交差点

デザインのPoint

- ◆ 沿道の要素も取り入れた交差点全体の調和に配慮しましょう。
- ◆ 交差点に「隅切り」を設けることを基本とし、見通しの良い余裕のある道路空間を創出し、歩行者の快適な滞留スペースを確保することが望ましいです。
- ◆ ネットワークの結節点として、ランドマークとなるアイストッパー(シンボルツリー、モニュメント、象徴的な建物など)を形成することが望ましいです。
- ◆ 景観的に重要な樹木などの景観資源を積極的に活用することが望ましいです。
- ◆ 立体交差の高架構造や掘割構造は、洗練されたシンプルな構造とすることが望ましいです。

【交差点改良による景観形成】



見通しの良い交差点

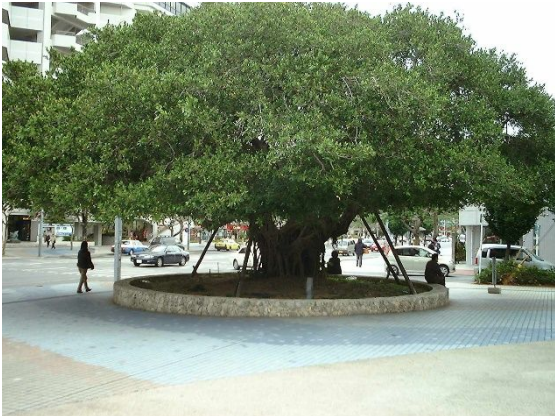


交差点の隅切り部(歩道部の幅員)を大きくとることで見通しの良い交差点を形成【那覇市：農連中央市場周辺】



交差点の歩道部に広場を設けることで見通しの良い交差点を形成【那覇市：県庁北口交差点】

アイストッパー



地域のランドマークとなるガジュマル
【那覇市：那覇市役所前広場】



交差点部に花壇を設け、樹木や花を植栽し、景観に配慮した事例
【那覇市：真地】

樹木等を活用した景観形成



交差点部に高木を植栽することで緑陰を創出した事例
【那覇市：那覇市役所前広場】



交差点部に植栽した樹木と休憩スペースと一緒に整備した事例
【那覇市：壺屋】

立体交差



立体交差の高架部分のデザインをシンプルにして、光が差し込むように工夫した事例
【那覇市：安里交差点】

2-2 歩道橋

デザインのPoint

- ◆ 歩道橋を整備する際は、できるだけ周囲との一体的な整備を図り、景観に馴染むよう配慮しましょう。
- ◆ 道路景観に煩雑感を与えないようスレンダーな形態としましょう。
- ◆ 歩道橋は道路の上部にあるため、“軽さ”を感じる色彩（明度が高く、彩度が低い）とすることが望ましいです。
- ◆ 公共公益的施設が隣接する場合は、階段取り付け部を建物の中に一体的に取込むことで、煩雑さを軽減することができます。
- ◆ ランドマークやアイストッパーとしての目的を持たせる場合は、安易に華美なデザインとならないよう周辺景観と馴染ませる工夫を図ることが望ましいです。

周辺との一体的な整備に配慮した歩道橋



駅、交通広場、商業施設と一体的に整備された歩道橋
【那覇市：小禄駅前】



交差点整備の際に周辺の歩道と一体的に整備を行った事例
【宜野湾市：我如古交差点】

色彩や形態に配慮した歩道橋



側面部を桁下から見て軽快で明るい印象を与えている事例
【那覇市：那覇東バイパス】



側面部を桁下から見て軽快で明るい印象を与えている事例
【那覇市：赤田交差点】

建築物と一体的に整備した歩道橋



モノレール駅、バスターミナル、公共公益施設、商業施設の建物と一体的に整備された歩道橋
【那覇市：旭橋】

ランドマーク



地域のランドマークとなっている歩道橋(おもろ天空橋)
【那覇市：新都心公園周辺】



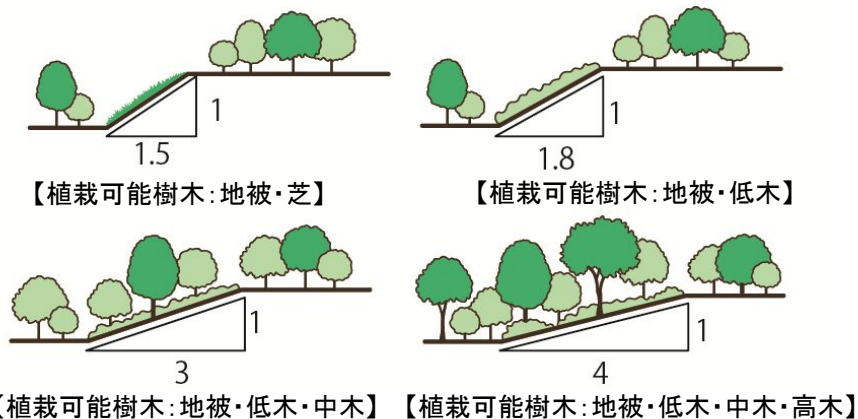
地域のランドマークとなっている歩道橋(おもろ花風橋)
【那覇市：那覇中環状線】

2-3 法面・擁壁

デザインのPoint

- ◆ 土羽法面は豊かな修景緑化が図れる勾配（1:3 以上）を基準とし、最大勾配は 1:2 までとすることが望ましいです。
- ◆ 法面や擁壁は、修景緑化を行うことを基本とし、周辺景観に配慮しましょう。また、維持管理が行いやすいデザインに配慮することが重要です。
- ◆ 擁壁の高さが目線の高さ（概ね 1.5m）を超える場合は、全体の高さを 1 枚のものとして、小段を設けて植栽空間などを確保し、分節化を図ることで人工構造物としての見え方を小さくすることができます。
- ◆ 石積み擁壁などは周辺景観に馴染みやすくなるため、擁壁に自然石を用いるよう努めましょう。
- ◆ コンクリート擁壁の場合、化粧型枠などを活用した表面処理（はつり風、割肌風、スリット、リブなど）を施し、凹凸や陰影、ざらざらした質感を形成することで、人工的でのっぺりとした印象を軽減できます。

【法面への修景緑化のイメージ】



緑化に配慮した法面・擁壁



表面を緑化した事例
【那覇市：シュガーローフビル周辺】



小段を設け植栽空間を確保した事例
【北中城村：ライカム周辺】

自然石の活用



琉球石灰岩を活用した事例
【那覇市：首里城周辺】



琉球石灰岩を活用した事例
【南風原町：高津嘉山トンネル周辺】

コンクリート法面・擁壁の修景事例



擁壁の表面に凹凸をつけ、のっぺりとした印象を軽減した事例
【那覇市：泊小学校周辺】



デザイン性に配慮した表面でのっぺりとした印象を軽減した事例
【那覇市：興南高校周辺・国道 330 号沿い】

公共コラム

モノレール視点からの景観

モノレールにおける高い視点からの眺望も重要な景観要素となっています。

そのため、緑の斜面や稜線の保全については良好な自然景観を形成するための重要な要素となります。

また、自然景観のみならず法面や擁壁についても緑化を図るなどの工夫を行い、良好な景観形成を行うことが望ましいです。



【那覇市：儀保駅～首里駅・虎瀬公園（整備中）】



2-4 トンネル

デザインのPoint

- ◆ 坑口のコンクリート壁面部分を小さくする工夫を図ったり、坑口や坑口周辺への緑化を図ったりするなど、周辺環境との調和した型式・工法に努めましょう。
- ◆ コンクリート壁面の場合、化粧型枠などを活用した表面処理(はつり風、割肌風、スリット、リブなど)や自然石の石張りを施し、凹凸や陰影、ざらざらした質感を形成することで、人工的でのっぺりとした印象を軽減できます。
- ◆ 坑口壁面はドライバーの目に馴染むような輝度に努めましょう。
- ◆ 坑口周辺に設置する擁壁も一体的に検討するなど、進入する際の心理的圧迫感の少ないデザインに努めましょう。
- ◆ 内部空間は、照明、換気などの設備施設と一体的なデザインを図ると共に、維持管理や安全に配慮し、広く明るく見せるよう努めましょう。

坑口周辺の緑化



坑口部を緑化し、周辺の景観に配慮した事例
【那覇市：首里城周辺】



坑口の周辺を緑化し、周辺の景観に配慮した事例
【那覇市：海軍壕公園周辺】

一体的なデザインへの配慮



周囲の擁壁と一体化させ、擁壁部に植栽し、通行車への配慮も行っている事例【南城市：ニライカナイ橋周辺】



坑口部を琉球石灰岩で仕上げ、良好な景観を創出した事例
【南風原町：つかざんトンネル】

2-5 バス停

デザインの Point

- ◆ 滞留空間として、上屋や緑陰形成により日陰スペースを確保し、居心地の良い空間の形成に努めましょう。
- ◆ 上屋やベンチなどは、歩行者の動線に配慮すると共に、景観的に唐突な印象を与えない違和感のないデザインに努めましょう。
- ◆ 歩道舗装と異なる舗装を用いる等の工夫を図る事によって、滞留空間を意識させることができます。但し、周辺景観との調和に配慮しましょう。
- ◆ 狭い歩道にあるバス停については、上屋や緑陰樹植栽などができる空間を確保できるように周辺との一体的な整備に考慮しましょう。

景観に配慮したバス停



琉球石灰岩を活用し、周辺の景観と調和させたバス停
【那覇市：首里城周辺】



バス停の屋根部に植栽のデザインを行った事例
【那覇市：山下バス停】

周辺との一体的な整備を図ったバス停



木と琉球石灰岩を活用したバス停。背後の真地公民館と一体的に整備した事例【那覇市：識名園前バス停】
<第13回 那覇市都市景観賞>



バス停側の住宅の一部をシェルターとして活用し、住宅と一体的に整備されている事例【那覇市：金城二丁目バス停】

2-6 道路照明・電柱

デザインのPoint

- ◆ 歩道照明を整備することが困難な場合は、電柱などと共用するよう配慮しましょう。
- ◆ 車道照明や歩道照明の形態はシンプルにできるだけ細く見せるよう配慮しましょう。また、色彩は周辺景観にとけこむ色彩を基調としましょう。
- ◆ 車道照明や歩道照明の柱など地域の個性を反映したデザインとする場合は、歩道舗装デザインなどと一貫したデザインに配慮すると共に、過度な装飾や具象的なデザインは避け、目立ち過ぎないように十分な検討を図りましょう。
- ◆ 景観的に配慮した方が良い通りの電柱は、極力歩道内への設置を避けるよう電線地中化、裏配線、軒下配線など工夫を図りましょう。
- ◆ 電柱を設置する場合は、周辺景観にとけこむ色彩としましょう。

シンプルで周辺景観にとけこんだ道路照明・電柱



シンプルな形状で周辺の景観に溶け込む色彩とした事例
【豊見城市：真玉橋周辺】



車道照明の下部を琉球石灰岩風にデザインされた事例、また、その上部は貼り紙が容易に行えないように対応した事例【那覇市：新都心周辺】



地域の個性をデザインに取り入れた照明



地域の個性をデザインに取り入れた事例
(やちむんの模様をデザイン)
【読谷村：やちむんの里】



地域の個性をデザインに取り入れた事例(右写真：かすりの模様をデザイン)
【南風原町：南風原町役場前】



2-7 舗装

デザインのPoint

- ◆ 機能面や維持管理面などから、原則的に素材特性の優れたアスファルト系とするのが望ましいです。
- ◆ 車道舗装において、路肩や停車帯、バスレーン等を区別する必要がある場合は、異なる素材により変化を与えることが望ましいです。
- ◆ 周辺景観に配慮した落ち着いた空間を創出するため、歩道の舗装に自然石舗装や石粉風舗装を活用することを基本とし、特に自然景観や歴史景観に配慮する地域においては、可能な限り車道についても自然石舗装等の活用に努めましょう。
- ◆ 商店街や繁華街など人通りの多い地域では、歩車道の舗装にインターロッキング、レンガなど多様な素材を活用することで、賑わいある空間を演出することができます。また、車道と歩道との段差を解消するなどの検討を行いましょう。
- ◆ 但し、具象的な舗装デザインまたは、唐突で過剰な舗装デザインとならないように十分な検討を行いましょう。また、車両の乗り入れ口等の改良工事（歩道の切り下げ等）を行う際は、舗装の不陸（凸凹）等が生じない構造とし、景観にも配慮した整備を行いましょう。
- ◆ スリット側溝等を用いることで、すっきりとした道路空間が創出できます。

路肩や停車帯・歩道などのデザイン



停車帯の舗装に琉球石灰岩を活用するとともに、歩道との段差を解消し歩きやすい整備がなされている事例【那覇市：龍潭通り】



歩道部と車道部を同様のデザインとした事例【那覇市：赤マルソウ通り】



スリット側溝により、道路全体の舗装がすっきりとしたイメージを創出した事例【浦添市：浦添グスク・ようどれ館前】



縁石の下部に側溝を設けた事例【福岡県：博多駅前通り】

アスファルトの活用事例



周辺の自然景観と調和を図るため、歩道に石紛風舗装(脱色アスファルト舗装)を用いた事例【恩納村:国道58号】



周辺の歴史景観に配慮し、車道のアスファルト面に歩道舗装と同系色の遮熱性塗装を用いた事例【那覇市:龍潭通り】

自然景観や歴史景観に配慮した舗装事例



周辺の自然景観と調和を図るため、歩道に石紛風舗装(脱色アスファルト舗装)を用いた事例【名護市:国道58号】



舗装に琉球石灰岩を活用することで、歴史的な街並みを創出している事例【那覇市:首里大中町】

賑わいのある空間を演出する舗装事例



歩道との段差を解消するとともに、歩車道の舗装を一体的にデザインすることで、明るく楽しい空間を演出【北谷町:アメリカンビレッジ】



磁器タイル舗装により、賑わい溢れる沿道景観を創出した事例【那覇市:国際通り】

地域をイメージした舗装の事例



舗装に首里織の模様を施した事例
【那覇市：那覇クルーズターミナル】



舗装にかすりの模様を施した事例
【南風原町：南風原町役場前】

車両の乗り入れ口



商業施設等への乗り入れ部における舗装部については、周辺の舗装に合わせた整備及び修繕としましょう

写真左は周辺のデザインと統一されていない事例【那覇市：おもろまち】



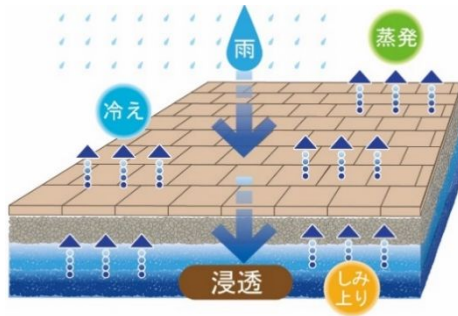
写真右は周辺のデザインと統一された事例【那覇市：カーナ旭橋】

公共コラム

雨水の浸透（透水性舗装などの活用）



舗装材に多孔質な素材を用いて雨水を自然に地中へ浸透させることで、雨水排水施設の負担軽減を図るとともに、周辺の樹木や草花の良好な生育を促すことができます。更に、蒸散効果により気温を低下させ、ヒートアイランドの抑制にも貢献します。



また、舗装面の一部を緑化することでも雨水を自然に地中へ浸透させることができ、さらに、潤いある街並み景観を創出することができます。

公共コラム

視覚障がい者誘導用ブロック
（通称：点字ブロック）について



視覚障がい者誘導用の点字ブロックやその周辺舗装の色彩は、点字ブロックの識別しやすい輝度比が求められますが、過去に整備されたものの中には、周辺の舗装と同色の点字ブロックも見られ、機能を満たしていないものもあります。点字ブロックを整備する際には、ユニバーサルデザインや景観的観点も含めた総合的なデザイン検討を行う事が重要です。

【色弱者に配慮した点字ブロックの事例】



白地の舗装に赤系の点字ブロックの事例
【那覇市：那覇バスターミナル周辺】



周辺の舗装に配慮し、点字ブロックの側に縁取りを設けた事例
【那覇市：沖縄県南部合同庁舎前】



周辺の舗装と明度を変えた点字ブロックの事例
【南風原町：南風原町役場周辺】



周辺の舗装に配慮した黄系の点字ブロックの事例
【北谷町：フィッシャリーナ】

2-8 植栽

デザインの Point

- ◆ 『「亜熱帯庭園都市」なは』として緑豊かで彩りある植栽に努めましょう。
- ◆ できるだけ連続した緑陰を確保し、心地良い歩行空間の創出に努めましょう。
- ◆ 道路の位置づけやテーマを踏まえた樹種の選定や配植に努めましょう。
- ◆ 地域のシンボリックな既存樹木は、積極的に保全活用を図りましょう。また、沿道樹木との関連性に配慮した整備を図りましょう。
- ◆ 但し、歩道幅に合った樹冠を形成する樹種、海浜地域や風の強い箇所での耐潮風性に優れた樹種とするなど、立地箇所の道路構造や環境条件は十分に配慮した適切な樹種選定や配植に努めましょう。
- ◆ 歩行空間の確保や除草作業など維持管理の軽減に配慮し、植栽柵を基本とします。
- ◆ 植栽帯の採用は、将来的な維持管理の負担が植栽柵より大きいため、周辺の状況を踏まえた十分な検討を図りましょう。地域や企業等の協力が得られるか等も検討しましょう。
- ◆ 歩行空間を確保した上で、根系の生育空間である植栽基盤の十分な確保が図られるよう耐圧基盤材を用いるなどの工夫に努めましょう。

連続した緑陰を形成した歩行空間の創出



緑陰を形成した良好な歩行空間

【那覇市：城岳小学校沿い、リュウキュウマツ並木】

<第12回 那覇市都市景観賞>



緑陰を形成した良好な歩行空間

【那覇市：壺川駅近くモノレール沿い歩道】

道路(エリア、ゾーン、テーマなど)の位置づけを踏まえた道路植栽



地域のテーマを位置つけた道路植栽

【名護市：国道58号プセナリゾート前】



まちづくりのテーマに沿ったイメージの道路植栽

【北谷町：アメリカンビレッジ内道路】

地域のシンボリックな既存樹木の活用



地域のシンボルとなっているガジュマル
【那覇市：城岳小学校周辺】



「ぐしちゃん福の木通り会」を結成し、景観美化活動を行っているフクギ並木【八重瀬町：具志頭歴史民俗資料館周辺】

草花類や花木などを活用した道路植栽



沿道に花を植栽することで良好な景観を形成した事例
【南風原町：本部】



「トックリキワタ通り会」が美化活動を行っているトックリキワタ通り
【那覇市：与儀トックリキワタ通り】

沿道樹木と一体的となった道路空間

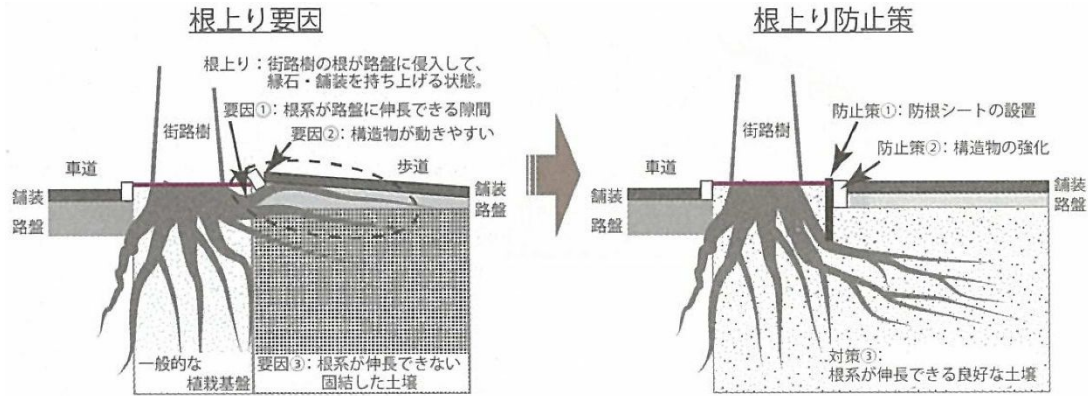


緑のトンネルを思わせる美しい道路空間を形成している事例
【那覇市：裁判所通り】<第9回 那覇市都市景観賞>



アカギやサガリバナにより良好な植栽空間を演出している事例
【那覇市：首里崎山町馬場通り】<第19回 那覇市都市景観賞>

根上り防止対策



道路緑化技術基準・同解説(平成 28 年 3 月 公益社団法人 日本道路協会) より

樹種によって舗装面を破損する可能性があるため、街路樹を植栽する際には、整備計画の段階から根上防止対策や植栽樹の大きさに応じた樹種の選定に配慮しましょう。



根上がりによる緑石の破損
【那覇市：前島】



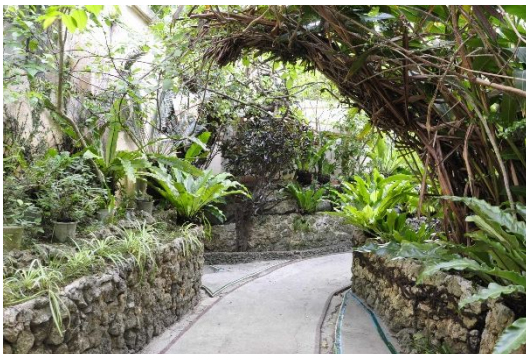
根上がり防止対策を行った事例
【那覇市：開南小学校周辺】

公共コラム

地域住民の維持管理活動による景観形成

首里当蔵町2丁目県立芸大横のスージ※では花壇や生け垣等で緑化し、潤いと癒しを感じる景観を創出しています。

スージの緑化は地域住民の維持管理等により良好な景観を創出させ、2004 年度に「首里当蔵町2丁目のスージ緑化活動」として那覇市都市景観賞を受賞しています。



< 第 13 回 那覇市都市景観賞 >

※ スージ：路地のことを言います。

2-9 交通広場

デザインのPoint

- ◆ 道路整備等における残地については、休憩施設（交流スペース）として活用し、周辺の公共空間と一体的な整備を行きましょう。
- ◆ 交通広場にはシンボルツリーとして花木や緑陰木を配植するなどランドマークやアイストップとしての機能を形成させ、また、ベンチなどを設け休憩スポットとしての活用も図りましょう。

公共空間と一体的な整備



道路整備における残地部分を休憩施設（交流スペース）として活用した事例【那覇市：龍潭通り】



道路整備における残地部分を休憩施設（交流スペース）として活用した事例【那覇市：崇元寺前】

休憩スペース



背後に広場を設け、木と琉球石灰岩を活用し、周囲の歴史性に調和された休憩施設（交流スペース）を確保【那覇市：龍潭通り】



道路の隅切り部を活用した休憩施設（交流スペース）の事例【那覇市：壺屋】

2-10 自転車通行空間

デザインのPoint

- ◆ 自転車通行空間を整備する場合は、通行の妨げとなる段差などを解消し、かつ、滑りにくい構造としましょう。
- ◆ 自転車通行空間への誘導サインについては、シンプルかつ統一性のあるデザインを基調としましょう。
- ◆ 自転車通行空間への着色や進行方向の矢羽根型路面表示を行う際には、視認性や周辺の景観に配慮しましょう。
- ◆ 夜間の視認性を高めるため反射材を活用した設備を設置する際には、周辺の景観に配慮しましょう。

自転車通行空間の種類



■ 自転車道

縁石や柵、その他の工作物を用いて、自動車、自転車、歩行者通行の分離を図る。自転車道が設置された道路では、自転車は自転車道を通行しなければならない。

■ 自転車専用通行帯

車道に自転車が通行する専用通行帯（自転車専用レーン）の規制を実施し、自転車通行空間の明確化を図る。規制のための道路標示及び標識を設置する。

自転車専用通行帯（自転車専用レーン）が設置された道路では、自転車は自動車と同じ方向の一方向のみの通行となる。

■ 車道混在

自転車が本来通行すべき通行位置・通行方向を明示するために、矢羽根やピクトグラムを通行部分（左側端）に設置する。

車道混在は、上記「自転車道」「自転車専用通行帯」と異なり、交通規制は無いが、矢羽根やピクトグラム等を設置することで、自転車利用者にとって通行箇所が明確となるため、通行挙動の安定や逆走の防止、自動車ドライバーの自転車通行に対する意識啓発などの効果がある。

※那覇市自転車ネットワーク計画（基本計画編）計画書「2018年3月」より

自転車通行空間



縁石と植栽を活用し自転車道と歩行者専用道路を分離した事例【名護市：宮里・21世紀の森公園付近】



車道部に矢羽根型の自転車専用道路標示を行い、車道部と自転車専用部を分離した事例【名護市：宇茂佐の森地内】



交差点部に矢羽根型の自転車専用の道路標示をした車道混在型の自転車通行空間の事例【名護市：宮里・21世紀の森公園付近】

※自転車通行空間における色彩については、周辺の景観等に配慮して整備を行いましよう。

自転車通行空間の誘導サイン



夜でも視認しやすい配色とともに、周辺の景観に配慮した誘導サイン【那覇市：壺川】



誘導サインの設置は行わず、路面に表示した誘導サイン【名護市：宮里・21世紀の森公園付近】

2-11 橋梁

デザインの Point

- ◆ 景観要素としての存在感が大きいことから、美しいデザインとなるよう配慮しましょう。
- ◆ 原則として、過度な装飾は避けたシンプルなデザインとし、周辺景観や周辺環境に溶け込むデザインとすることが望ましいです。
- ◆ 高欄は、安全性を確保した上で、橋梁内外部からの眺望性、圧迫感の軽減に配慮したデザインに努めましょう。地域の個性を反映したデザインとする場合は、過度な装飾や具象的なデザインは避けるよう十分な検討を図りましょう。
- ◆ 橋梁は、道路や河川の結節点やビューポイントにもなることから、橋詰め広場やバルコニーを設け、たまり空間を創出しましょう。

周辺景観に配慮したデザイン



白を基調としシンプルなデザインとした事例
【豊見城市：とよみ大橋】



側面部に琉球石灰岩を活用し、景観に配慮した事例
【那覇市：あがり橋】

たまり空間の創出



河川周辺と同様のデザインとしたたまり空間
【那覇市：あがり橋周辺】



たまり空間に緑陰を創出する樹木を植栽し、周辺の休憩スペースを設けている事例【那覇市：明治橋】

高欄のデザイン



軽便鉄道をモチーフとした事例【那覇市：宇久増橋】<第12回 那覇市都市景観賞>



高欄部に那覇の旗頭をデザインした事例
【那覇市：御成橋】



プラネタリウムをモチーフとした事例
【那覇市：久茂地橋】

公共コラム

橋桁下の有効活用



橋桁下を駐車場や公園として整備することで、有効活用することも考えられます。



橋桁下を公園として活用している事例
【南風原町：花・水・緑の大回廊公園】



橋梁下をパーク＆ライドの駐車場として活用している事例
【那覇市：安里交差点周辺】

2-12 その他(歩車道分離施設・ストリートファニチャー)

デザインのPoint

- ◆ 目立たず周辺景観と調和し、風景の一部として違和感ないデザインとすることを基本とします。
- ◆ 防護柵などの交通安全施設は景観と安全性の両立を図ったデザインとしましょう。
- ◆ 防護柵は、シンプルな形状、透過性、視線誘導などに配慮したデザインとし、連続する区間や範囲、上り線と下り線、または異なる構造種別で、デザイン(形状、色彩など)の統一感を持たせましょう。
- ◆ 景観に優れた他施設(防護柵の代わりとしての縁石や低木植栽)による代替策も含めた必要性も検討しましょう。
- ◆ 歩行者が直接触れることを勘案し、ボルト等の突起物、部材の継ぎ目等で危害を及ぼすことのない形状、肌触り感の向上など、人との親和性に配慮しましょう。
- ◆ ボラードやベンチは、周辺の街並みとの調和を図り、シンプルな形状で落ち着きを感じさせる色や素材に配慮しましょう。

景観に配慮した道路付属物等のデザイン



周辺の景観と調和させた車止め
【那覇市：龍潭通り】



周辺の景観と調和させた電線共同溝
【那覇市：国際通り】



防護柵をビーム状にすることで、透過性を向上させた事例
【福岡県：博多駅前通り】



シンプルな形状の車止め
【那覇市：国際通り】



石積み、植栽、シーサーを配置し、歴史性を感じる地域に調和させた事例【那覇市：首里崎山町馬場通り】



シーサーをモチーフとし、沖繩らしさを表現した車止め【北谷町：アメリカンビレッジ】



交差点部に緑陰を創出する樹木を植樹し、その下に琉球石灰岩のベンチを設けている事例【那覇市：小禄金城公園周辺】



景観に配慮した色彩のベンチ。ベンチ上部には誘導サインの表示も行っている【福岡県：博多駅前通り】

親和性への配慮



防護柵を横ビーム状とすることで透過性を向上させ、ドライバーへの圧迫感を軽減している。また、丸みのあるボルトを使用し、ボルトを内側に設置することで、親和性を向上させ、歩行者への安全性にも配慮している事例【那覇市：那覇東バイパス】



那覇市の景観デザイン

デザインマニュアルの体系について

序章

公園・緑地

道路

種別デザインマニュアル

水辺空間

公共建築物

公共サイン

3. 水辺空間

水辺空間を構成する重要な要素（護岸やプロムナード、親水広場など）に分類し、水辺の持つ快適性や潤いを感じる水辺景観の観点から配慮すべき事項の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

良好な水辺景観を形成するため下記の事項に配慮し、水辺の快適性や潤いの富んだデザインを心がけることが重要です。

【良好な水辺景観を形成するための事項】

(1) 自然度の高い水辺空間づくり

- ①残存する河川林、自然海岸や海岸林の保全に努めましょう。
- ②水辺空間に生息する動植物の生活の場としての環境づくりに配慮しましょう。
- ③護岸などの構造物については、極力自然素材を活用しましょう。
- ④コンクリート構造物は、周辺の自然景観との調和に配慮し、風景の一部として違和感ないデザインとなるよう努めましょう。
- ⑤河川林や海岸林などの緑化に努めると共に、できる限り連続させ、豊かな緑ある空間を創出しましょう。
- ⑥沖縄の風土特性に配慮した『「亜熱帯庭園都市」なは』のイメージを演出する植栽に努めましょう。

対象項目

- 3-1 護岸
- 3-3 親水広場
- 3-4 多自然川づくり
- 3-6 海岸
- 3-7 遊水地

(2) 親水性の高い水辺空間づくり

- ①親水活動のレベルに合った断面形態に努めましょう。
- ②可能な限り連続性ある遊歩道や散策路を整備し、周遊性を高めましょう。
- ③遊歩道や散策路は緑豊かな空間とし、心地良い歩行空間の創出に努めましょう。
- ④水面を眺められる施設デザインとなるよう工夫を図りましょう。
- ⑤適所に水とふれあえる憩いの場を設けましょう。
- ⑥安全性に配慮した親水施設としましょう。

対象項目

- 3-2 プロムナード
- 3-3 親水広場
- 3-5 付帯施設
- 3-6 海岸

(3) 周辺施設と一体となった水辺空間の形成

- ①隣接する公園や広場などの公共施設と一体的な整備に努めましょう。
- ②石橋など歴史・文化的な構造物については、保存と活用を図りましょう。
- ③歴史的な景観地域における水辺空間では、風土性や歴史性を感じるデザインに配慮しましょう。

対象項目

- 3-1 護岸
- 3-5 付帯施設

3-1 護岸

デザインのPoint

- ◆ 護岸の構造は、可能な限り空石積みとするなど、生物の生息空間の創出に配慮しましょう。
- ◆ 護岸の素材は、可能な限り自然石を活用し、周辺景観に馴染ませましょう。
- ◆ コンクリート構造物の場合、化粧型枠などを活用した表面処理(はつり風、割肌風、スリット、リブなど)を施し、凹凸や陰影、ざらざらした質感を形成することで、人工的でのっぺりとした印象を軽減できます。

自然素材を活用した護岸



琉球石灰岩を活用した護岸【南風原町:国場川】



琉球石灰岩を活用した護岸【那覇市:安里川】

緑化に配慮した護岸



陸部は自然素材の護岸とし、河川部には緑化の護岸を形成することで、良好な河川景観を形成している事例【沖縄市:比謝川】



護岸部を緑化し高木を植栽することで良好な河川景観に配慮した事例【那覇市:さいおんスクエア・安里川】



護岸部を緑化することで、潤いある河川景観を演出している事例【南風原町:国場川】

<第17回 那覇市都市景観賞>



3-2 プロムナード

デザインの Point

- ◆ 水辺の道は河川の親水空間として最も重要な要素であることから、積極的な整備に努めましょう。
- ◆ 水辺の道の幅員に余裕がない場合は、河道内にデッキなどを整備することにより歩行空間のネットワークを図ることができます。
- ◆ 水辺の道の要所に河川景観を楽しむ水辺の休息空間を設けましょう。
- ◆ 水辺の道をできるだけ水辺空間に近づけることで、潤いと安らぎを感じることができます。
- ◆ 水辺の道に高木や花木などを植栽することで緑陰を創出し、心地よさを感じる歩行空間を創出できます。
- ◆ 親水空間を緑化することで、活力ある水辺景観を創出することができます。

水辺の道



住宅地の間を流れる雨水路に遊歩道を設けて親しみと潤いのある水辺空間を創出している事例

【那覇市：小祿南の雨水路】



舗装面に琉球石灰岩を活用し、良好な景観を創出している事例

【那覇市：カフーナ旭橋・久茂地川】



水辺の道をウッドデッキで整備することで、周辺の緑化と一体的な空間を創出している事例【豊見城市：漫湖水鳥・湿地センター】

水辺にふれあえる空間



水辺にふれあえる空間
【沖縄市：比謝川】



水辺とその周辺の緑にふれあえる空間
【豊見城市：漫湖水鳥・湿地センター】

植栽空間



水辺の道に花木を植栽することで、心地よさを感じる歩行空間を創出した事例【東京都：落合川】



水辺の道に高木を植栽し緑陰を創出している事例
【南風原町：国場川】

親水空間への緑化の創出



親水空間に緑陰を創出することで、心地よい水辺空間を創出した事例
【東京都江戸川区：一之江境川親水公園】



親水空間に緑陰を創出することで、心地よい水辺空間を創出した事例
【東京都江戸川区：一之江境川親水公園】

3-3 親水広場

デザインの Point

- ◆ 河川空間に親水広場を設けることで、人々が滞留し、休憩する場として水辺景観を楽しむことができます。
- ◆ 河川の合流部や分流部は河川の視点場となり得る場所であることから、休憩広場など水辺に触れることのできる空間としましょう。

水とふれあえる親水空間



水と直接ふれあうことのできる親水広場
【那覇市：さいおんスクエア・安里川】
<第17回 那覇市都市景観賞>



親水広場にオープンスペースを設けることで、人々が集いやすい空間を創出した事例【那覇市：さいおんスクエア・安里川】
<第17回 那覇市都市景観賞>

河川合流部や分流部の空間



河川合流部に休憩広場を設けた事例。水辺にふれあえる場として整備した事例【南風原町：国場川】



河川分流部を活用した公園
【那覇市：前島南公園】

3-4 多自然川づくり

デザインのPoint

- ◆ 河床部については、自然そのままの河床が望ましいが、コンクリート等を活用する際には、直接むき出しにせず自然素材の活用に努めましょう。
- ◆ 護岸や河床部には動植物が生息しやすい環境整備に配慮しましょう。
- ◆ 河床部に大きな落差が生じる場合には、魚道を整備し魚がのぼりやすい川づくりに配慮しましょう。
- ◆ 多自然川づくり※により水辺の魅力を高めることはできますが、安全性への配慮も重要となります。
- ◆ 公園を隣接させ一体的に整備することで、河川の自然空間と公園の魅力の相乗効果が高まります。

※「多自然川づくり」：河川全体の自然の営みを視野に入れ、地域の暮らしや歴史・文化との調和にも配慮し、河川が本来有している生物の生息・生育・繁殖環境及び多様な河川景観を保全・創出するために、河川管理を行うことをいう。

動植物への配慮



河川内の一部を緑化することで、動植物が生息しやすい環境となっている事例【東京都：落合川】



河床部を石詰めにする事で動植物が生息しやすい環境となっている事例【東京都：南沢水辺公園】

魚道



緩やかな落差工を設け、周辺の景観に配慮し自然石を活用した魚道の事例【東京都：落合川】



落差工を数段に分けて設け、その周りを自然石で周辺の景観に配慮した魚道の事例【南風原町：国場川】

安全性への配慮



一部柵を設けない場合は看板等での注意喚起を行うこととしましょう
【南風原町：国場川】



植栽による柵を設けることで周辺の景観にも配慮している事例
【富山県：稲荷公園】

公園や緑地と一体となった河川空間



公園の側を河川が通っており、水辺空間と公園の持つ自然空間が一体となって良好な潤いを感じる空間を形成している事例
【那覇市：奥武山公園】



緩やかな傾斜の護岸の背後部を公園と一体化させ、河川の自然空間と公園の魅力を合わせた事例【国頭村：奥川】



河川と公園を一体的に整備した事例
【富山県：京坪川河川公園】

3-5 付帯施設

デザインのPoint

- ◆ 目立たず周辺景観と調和し、風景の一部として違和感ないデザインとすることを基本とします。
- ◆ 転落防止柵などの安全施設は、景観と安全性の両立を図ったデザインとしましょう。
- ◆ 転落防止柵は、水面への眺望に配慮し、透過性に優れた形状を基本とし、シンプルな形状や色、存在感低減などに配慮したデザインとしましょう。また、連続する区間や範囲、異なる構造種別で、デザイン(形状、色彩など)の統一感を持たせましょう。
- ◆ 景観に優れた他施設(転落防止柵の代わりとしての縁石や植栽帯)による代替策も含めた必要性も検討しましょう。
- ◆ 歩行者が直接触れることを勘案し、ボルト等の突起物、部材の継ぎ目等で危害を及ぼすことのない形状、肌触り感の向上など、人との親和性に配慮しましょう。
- ◆ ボラードやベンチは、周辺景観との調和を図り、シンプルな形状で落ち着きを感じさせる色や素材に配慮しましょう。

景観に配慮した付帯施設のデザイン



ビーム状の防護柵とし、透過性に配慮した事例
【北谷町:フィッシャリーナ】



支柱を周辺の素材と調和させ、防護柵に鎖を活用することで、透過性に配慮した事例【那覇市:さいおんスクエア・安里川】



周辺の素材と調和させ、擁壁部と一体的に整備したベンチ
【那覇市:カフーナ旭橋】



周辺の素材と調和させた階段とベンチを一体的に整備した事例
【北谷町:フィッシャリーナ】



構造物と緑化による転落防止柵
【福岡県：清流公園・那珂川】



防護柵を護岸の上部に設けず、緑化した護岸の下部に配置した事例
【那覇市：さいおんスクエア・安里川】



防護柵と同様のデザインとした車両進入禁止のサイン
【那覇市：さいおんスクエア・安里川】



周辺の素材と調和させた車止め
【那覇市：さいおんスクエア・安里川】

公共コラム

防護柵の維持管理



防護柵は歩行者や自転車、車両の転落を防ぐため重要な施設となっています。

景観に配慮するため、木材を活用する事例も見られますが、雨風により腐敗する事例も見られます。

そのため、防護柵に木材を活用する際には、日常の点検や維持管理に十分留意しましょう。

さらに、防護柵のみならず、木材を活用する施設等についても、日常の点検や維持管理に十分留意しましょう。



腐敗により、破損が見られる防護柵
【那覇市内】

3-6 海岸

デザインのPoint

- ◆ 海岸沿いの護岸は緩勾配とし、親水性豊かな護岸形態としましょう。
- ◆ 海岸線の背後にはオープンスペースを設け、緑地帯を形成するなど、豊かな緑化景観に配慮しましょう。
- ◆ 遊歩道やオープンスペースなどを設け、利用の方が楽しめる空間づくりに配慮しましょう。
- ◆ 海岸周辺一帯を緑化することで、緑豊かな潤いある景観を形成することができます。

海岸沿いの緑化



緩やかな勾配の護岸とし、その背後に緑地とオープンスペースを設けた事例【豊見城市：豊崎海浜公園】



背後地には公園が隣接し、海浜まで賑わいが連続するような空間を創出している事例【宜野湾市：トロピカルビーチ】

海岸沿いの遊歩道



海岸沿いに遊歩道やオープンスペースを設け、利用の方が楽しめる歩行空間を形成した事例【糸満市：南浜公園】



海岸沿いに遊歩道を設け、利用の方が海を眺めながら楽しめる歩行空間を形成した事例【那覇市：三重城ふるさと海岸】

海岸周辺の緑化



港湾内に置かれているコンテナは道路側から見ると景観阻害の要因となります。そのため、道路沿いを高木や植栽等で目隠しすることで道路沿いの良好な景観を形成することができます。左【那覇市：那覇港那覇ふ頭地区】 右【那覇市：那覇港新港ふ頭地区】

親水性に配慮したスロープ及び緩傾斜型護岸



水域に対してスロープ等を一部に設置することで、水辺にふれあえる場を創出している事例
【北谷町：宮城海岸】



水域に対してスロープ等を一部に設置することで、水辺にふれあえる場を創出している事例【北谷町：宮城海岸】



緩やかな勾配の護岸に石材を使用することで、自然景観との馴染みを配慮した事例【北谷町：宮城海岸】

3-7 遊水地

デザインのPoint

- ◆ 治水機能を確保した上で、人工構造物の設置は必要最小限とし、できる限り緑地スペースを設け、市街地の中の潤いと安らぎを与える空間として、緑のオープンスペースを創出しましょう。
- ◆ まとまったオープンスペースを確保することで、スポーツや各種イベントなど多目的に活用できる空間として、地域への貢献も図られます。
- ◆ 人工構造物は、景観と機能性の両立を図ったデザインとしましょう。
- ◆ コンクリート構造物の場合、化粧型枠などを活用した表面処理(はつり風、割肌風、スリット、リブなど)を施し、凹凸や陰影、ざらざらした質感を形成することで、人工的でのっぺりとした印象を軽減できます。

オープンスペースの創出・活用

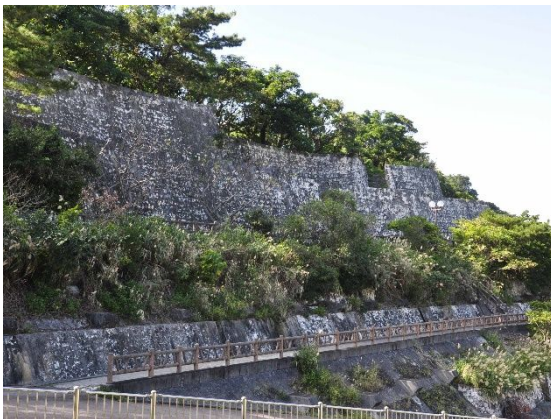


緑のオープンスペースを設け、多目的に有効利用を図っている事例
【那覇市：真嘉比遊水地】



緑地の中に水辺空間を形成し、水辺で遊べる空間を形成した事例
【那覇市：真嘉比遊水地】

構造物のデザイン



周辺の歴史性に配慮し、城壁をモチーフとした法面
【那覇市：金城ダム】



周辺の景観と調和させた琉球石灰岩の構造物
【那覇市：金城ダム】

<第12回 那覇市都市景観賞>



4. 公共建築物

建築物を構成する配置や敷地等の要素に分類し、ゆとりと潤いある都市景観の観点から配慮すべき事項の実現に向けて、それぞれの要素について具体的な公共建築の事例を紹介します。

公共建築物は、比較的大きな建物となるため周辺環境との調和や長大な壁面の分節化、壁面後退と緑化計画などが重要となります。

また、公共建築物は、景観形成の模範となるようなデザインを心がけることが重要です。

【公共建築物で重要視する事項】

(1) 地域特性をいかした施設づくり

- ①地域の特性をデザインの中に取り入れ、地域性が感じられる施設づくりとしましょう。
- ②地形や水辺等の自然条件をいかした施設づくりとしましょう。
- ③樹木や草花などの緑を積極的に活用しましょう。

対象項目

- 4-1 玄関アプローチ
- 4-3 屋根
- 4-4 壁面
- 4-6 塀・生け垣
- 4-7 屋上・壁面緑化
- 4-8 駐車場

(2) 地域に親しまれる施設づくり

- ①周辺環境に調和した素材の活用や色彩への配慮など外部空間の演出に努めましょう。
- ②外壁や敷地周辺の緑化など建物外観をリズムカルに演出するよう配慮しましょう。

対象項目

- 4-1 玄関アプローチ
- 4-2 色彩
- 4-4 壁面
- 4-5 屋外設備
- 4-6 塀・生け垣
- 4-7 屋上・壁面緑化

(3) 地域のランドマークとなる施設づくり

- ①地域の景観的なランドマーク・アイストップとなる施設づくりに配慮しましょう。
- ②優れたデザインや緑化を施し覚えられやすい演出に配慮しましょう。
- ③沿道樹木との一体的整備を図りましょう。
- ④歩道規格に合った樹種選定とするなど維持管理にも配慮しましょう。

対象項目

- 4-1 玄関アプローチ
- 4-2 色彩
- 4-7 屋上・壁面緑化

(4) ユニバーサルデザインに配慮した施設づくり

- ①誰もが利用しやすい経路に配慮しましょう。
- ②床や路面に段差を設けない施設づくりとしましょう。

対象項目

- 4-1 玄関アプローチ



4-1 玄関アプローチ

デザインのPoint

- ◆ 建物の顔となる玄関は、緑化などによる豊かな空間を形成することにより、魅力ある建築物となります。
- ◆ 誰もが利用しやすく、床や路面等に段差を設けず、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備としましょう。
- ◆ ターミナルは沖縄観光の玄関口でもあることから、『「亜熱帯庭園都市」なはの景観』のイメージに調和した植栽を施し、緑豊かな潤いある景観を形成しましょう。

緑化に配慮した玄関アプローチ空間



玄関までのアプローチ空間を緑化することで、潤いあるアプローチ空間を創出した事例【那覇市：石嶺市営住宅】



玄関までのアプローチ空間を屋上緑化と壁面緑化することで、潤いあるアプローチ空間を創出した事例【豊見城市：漫湖水鳥・湿地センター】



ターミナルの玄関口として緑化を行いつつ、遊歩道にシェルターを設け、雨天時等への配慮をしている事例【那覇市：那覇港泊ふ頭地区】

ユニバーサルデザインへの配慮



車いす利用者が通りやすい幅員を確保するとともに、その両脇を植栽することで、景観に配慮している事例【那覇市：那覇市役所】



庁舎の入口部までのスロープを整備し、車いす利用者も利用しやすいように配慮している事例【うるま市：うるま市役所】

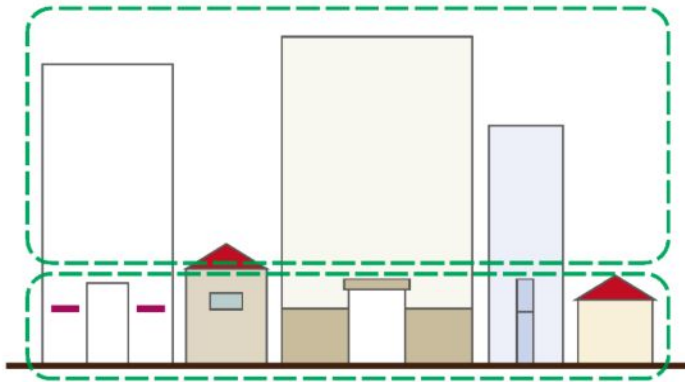


4-2 色彩

デザインのPoint

- ◆ 建築物及び工作物の外観における基調となる色彩については、亜熱帯独特の自然の豊かな彩りが感じられるコーラルホワイト※を中心とした色彩や低彩度の色彩を使用することで、統一感のある都市景観が生まれます。
- ◆ 建築物の中高層部に基調色を使用することで、街並みに連続性や統一感が生まれます。
- ◆ 建物の低層部に補助色や強調色を活用することで、建築物の表情をつくりだすことができます。
- ◆ アクセントカラーを小部分に効果的に用いることで、全体の配色を引き締める役割となります。また、素地色をいかした色彩とすることも効果的です。

※コーラルホワイト:那覇市のタウンカースタンドアードのために、琉球石灰岩のソフトな白をイメージしてつくった言葉です。



中高層部 (およそ3階以上の上階)

都市の大景観を構成する要素となる。
エリア区分にかかわらず、基調色によって統一感を作る部分。

低層部 (1~2階部分)

基調色と共に、補助色や強調色を活用する部位。
エリアの性格に応じて使う色の範囲が変わる。

中高層部に基調色、低層部に補助色・強調色を使用した例



低層部に補助色を活用し、大規模な壁面の圧迫感を軽減するため、壁面の塗り分けを工夫した事例【豊見城市:豊見城団地県改良住宅】



低層部から上部にかけて徐々に基調色とすることで、大規模な壁面の圧迫感を軽減し、壁面の塗り分けを工夫した事例【那覇市:沖縄県庁】



4-3 屋根

デザインのPoint

- ◆ 周辺の建築物と統一感のあるデザインとすることで、調和のとれた街並みとなります。
- ◆ 赤瓦などを活用することで、沖縄の文化を感じさせる景観となります。特に歴史性が感じられる地域においては、赤瓦を活用し勾配屋根を基本としましょう。

統一性のある屋根のデザイン



屋根に赤瓦を活用し、全棟の屋根の形状を勾配屋根で統一させた事例
【南風原町：沖縄県公文書館】



屋根に赤瓦を活用し、全棟の屋根の形状を勾配屋根で統一させ、歴史的な地区にふさわしい景観に配慮した事例【那覇市：城西小学校】
＜第2回 那覇市都市景観賞＞

赤瓦素材の活用



赤瓦の屋根を活用することで情緒ある空間を演出している。また、道路側を緑化することで、潤いある空間を創出した事例
【那覇市：石嶺市営住宅】



赤瓦を部分的に活用した事例
【那覇市：沖縄県市町村職員研修センター】



4-4 壁面

デザインのPoint

- ◆ 壁面やベランダは、都市景観への影響も大きいことから、街並みの連なりや調和に配慮することが求められます。
- ◆ 壁面を操作することで、建物の圧迫感を和らげたり空間にリズムをつけたりすることができます。
- ◆ ターミナルなどの大規模建築物の壁面は分節化や雁行させるなど、建物の圧迫感を和らげる工夫をし、周辺景観と調和した形態意匠としましょう。
- ◆ ベランダやバルコニーは、緑化に努め、きめ細やかな表情づくりを工夫しましょう。
- ◆ 建築物の壁面を後退させることで、ゆとりある歩行者空間を創出することができます。また、保水や緑化の場とすることで、良好な歩行者空間が形成できます。

圧迫感軽減に配慮した壁面



自然光や自然風を取り込みやすいつくりとし、圧迫感軽減に配慮されたデザインとなっている。また壁面緑化により「亜熱帯庭園都市」なはの景観』をイメージした建築物となっている【那覇市：那覇市役所】



大型のルーバーを活用し、壁面の圧迫感を軽減するとともに、西日の侵入を防ぐ役割も果たしている【糸満市：糸満市役所】



縦型のルーバーを活用し、壁面の圧迫感を軽減している事例【うるま市：うるま市役所】



壁面後退



壁面部を後退させ、ゆとりのある歩行者空間を形成した事例
【那覇市：那覇市役所前】



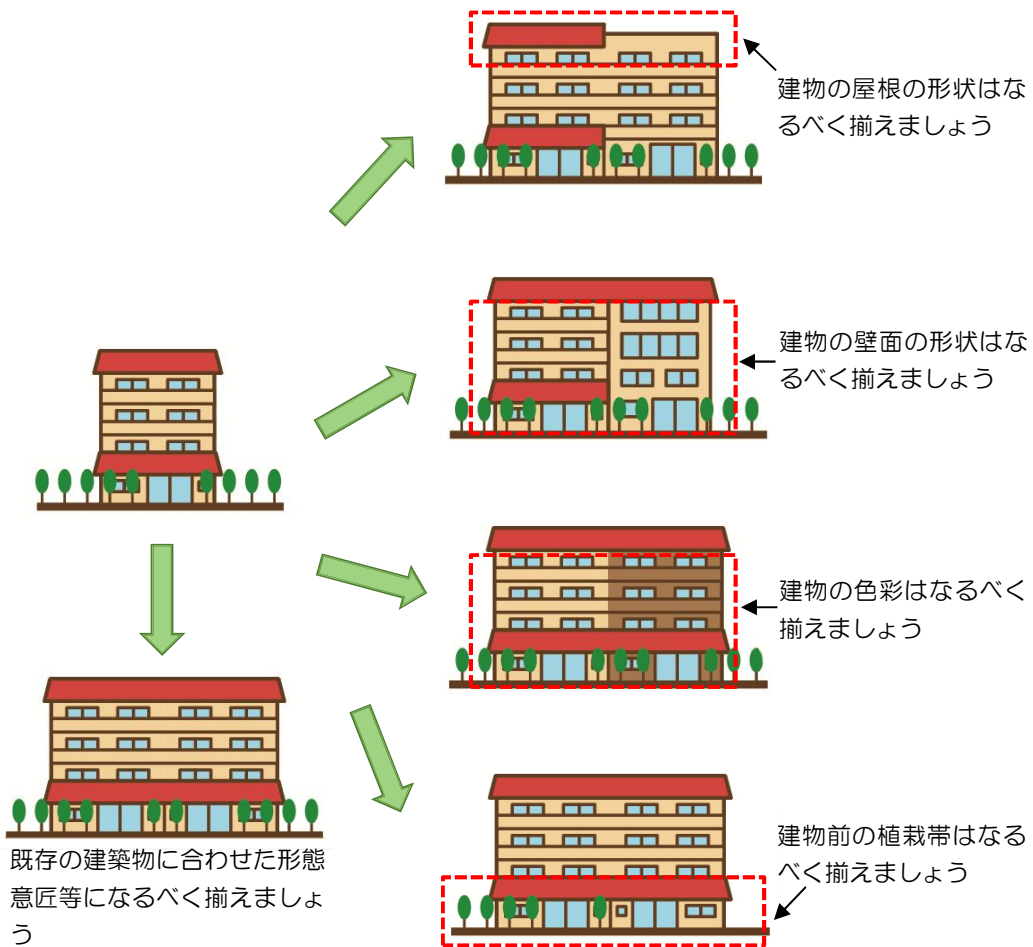
壁面部を後退させることで、ゆとりのある歩行者空間を形成するとともに、イベントなどが行える空間として整備した事例
【那覇市：那覇市ぶんかテンプス館前】

公共コラム

建築物の増築への対応



建築物の増築を行う際には、既存の建築物に合わせた形態意匠等に配慮した設計プランとしましょう。ただし、異なったデザインとする際には、既存の建築物や周辺の景観に配慮した形態意匠としましょう。





4-5 屋外設備

デザインのPoint

- ◆ 室外機などの設備機器等は、沿道から見えない位置に設置するなど、できるだけ露出を避け、景観に配慮した計画としましょう。
- ◆ 室外機や高架水槽などの設備はルーバーなどを活用し、露出させないようにしましょう。

屋外設備への配慮



屋外設備をルーバーで目隠している事例【南風原町：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター】



周辺の景観に配慮し、木調のルーバーで目隠している事例
【那覇市：さいおんスクエア】



歩道面から消火設備を隠している事例
【那覇市：石嶺市営住宅】

目隠しへの配慮



一階部分のベランダの目隠しに植栽を用いた事例
【豊見城市：豊見城団地県改良住宅】



建物の内部を見えにくいように配慮した植栽の事例
【南風原町：沖縄県立南部医療センター・こども医療センター】



4-6 塀・生け垣

デザインのPoint

- ◆ 緑化による潤いを感じる演出を心がけることで、街並みに潤いをもたらすことができます。
- ◆ 塀・柵などは生け垣や緑化することで、良好な街並みを形成するとともに、道路からの目隠し効果もあります。
- ◆ 琉球石灰岩などの自然素材と組み合わせた生け垣にすることで、沖縄らしさを演出することができます。
- ◆ ブロック塀の老朽化による災害も懸念されることから、亀裂の有無等の安全点検を中心に日頃の維持管理を行うこととします。

道路沿いの緑化



道路と建築物の間に中木と花木を植栽し、壁面の圧迫感を軽減することで良好な沿道景観を演出した事例【那覇市：沖縄県立博物館・美術館】



道路沿いを生け垣で修景し、良好な景観を演出した事例【那覇市：那覇国際高等学校】



塀の一部を花壇として整備し、周辺の景観に配慮した事例【那覇市：天久小学校】



道路沿いを生け垣で修景することで、駐車場の目隠しを行った事例【那覇市：石嶺市営住宅】



道路沿いに中木と花壇への緑化で、良好な沿道景観を演出した事例【那覇市：那覇高等学校】



4-7 屋上・壁面緑化

デザインの Point

- ◆ 屋上や壁面を緑化することで、良好な景観を創出し、都市に潤いをもたらすことができます。また、遠望からの景観形成にも効果的です。
- ◆ モノレールの沿線の建築物は車窓からよく見えることから、屋上や壁面等の手入れも重要な要素となりますので、適切な維持管理を行うこととします。

屋上・壁面緑化



建物の屋根の形状を階段状とし、その屋上部に樹木を植栽した事例【福岡県：アクロス福岡】



壁面の一部を緑化した事例
【那覇市：宇栄原小学校】



建物と建物を繋ぐ連絡通路の壁面を緑化した事例
【東京都：東京駅】

公共コラム

内部空間の緑化の形成

近年、多くの人々が集まる施設等に内部空間への緑化の形成が見られてきています。

公共施設においても内部空間の緑化の形成を検討してみてもいいのではないでしょうか。



▲【東京都：羽田空港】



▶【北中城村：イオンモール沖縄ライカム】▶

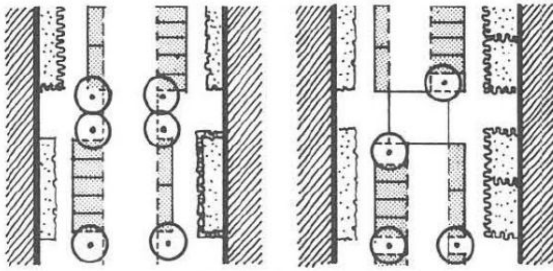




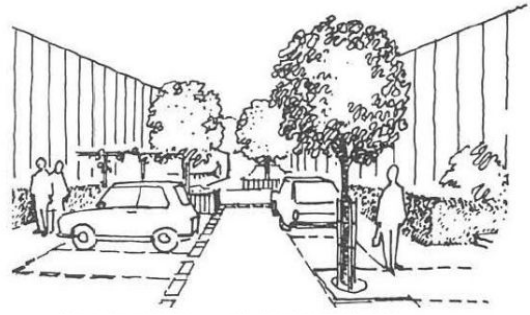
4-8 駐車場

デザインのPoint

- ◆ 高木を植栽し、緑陰を創出することで、『「亜熱帯庭園都市」なは』の景観づくりを目指します。
- ◆ 駐車場の地面に芝生などを活用することで、雨水を地下浸透させ、環境配慮にも繋がります。



比較的好ましい



高木を植栽し、緑陰を創出する

駐車場面の緑化



芝ブロックを用いて駐車場面を緑化した事例
【南城市：南城市役所】



駐車場面の緑化に合わせて周辺も緑化をすることで、潤いある景観を創出した事例【那覇市：宇栄原団地】

緑陰づくりに配慮した駐車場



緑陰づくりに配慮した駐車場スペース
【那覇市：識名園】



駐車場面の緑化に合わせて、高木を等間隔に植栽し、連続した緑陰を創出した事例【那覇市：県営古波蔵第3市街地住宅】



5. 公共サイン

誰もが安全・安心して移動できる公共サインとするため、それぞれの要素について具体的な事例を紹介します。

良好な公共サイン整備及び維持管理するため下記の事項に配慮し、街並みと調和したデザインを心がける必要があります。

【良好な公共サイン整備及び維持管理するための事項】

(1) 誰もが安全・安心して移動できる公共サイン

- ①ユニバーサルデザインへの配慮や防災サインとの連携に努めましょう。
- ②目的地への円滑な誘導等、連続性のある効果的なサインの配置を心がけましょう。
- ③誰もが安全に安心して移動できるサインとしましょう。

対象項目
5-1 安全・安心への配慮

(2) おもてなし・思いやりの心が伝わる公共サイン

- ①誰もが正しく理解できるよう、シンプルで統一性あるデザインを基調としましょう。
- ②管理が行き届いた、おもてなし・思いやりの心が伝わるサインとしましょう。

対象項目
5-2 統一性への配慮

(3) 那覇の景観と調和した公共サイン

- ①那覇市景観計画との整合を図り、沖縄らしい素材を活用しましょう。
- ②地域の特性を考慮したサインとしましょう。

対象項目
5-3 伝統的な素材の活用

(4) 公共サインの維持管理

- ①定期的な点検やメンテナンスを行い、維持管理します。
- ②点検の際には点検チェックシート等を作成し、現状を把握しておきます。
- ③屋外広告物については、有資格者による点検が義務付けられています。

対象項目
5-1 安全・安心への配慮



5-1 安全・安心への配慮

デザインのPoint

- ◆ サイン配置にあたっては、歩行者の安全に配慮するとともに、自動車等の通行の死角にならないように留意しましょう。
- ◆ ユニバーサルデザインの観点から日本語と英語の2種類による表記を基本としますが、必要に応じ、多言語表記の活用を検討しましょう。
- ◆ サインに表記する文字については、誰もが視認しやすい書体の使用を基本としましょう。
- ◆ 文字の大きさについては、視認性を考慮して高齢者や弱視者にも判読しやすいよう配慮しましょう。
- ◆ 見ただけで容易に理解できるピクトグラム（絵文字）を活用しましょう。
- ◆ 色彩については、図と地のコントラストを強くするなど視認性を高めるとともに、高齢者や色弱者、視覚障がい者に配慮しましょう。
- ◆ 周辺の色や空間構成等を考慮し、サインがあることがわかりやすく、かつ、周辺の景観を阻害しないような色彩としましょう。
- ◆ 車いす利用者の視認性を良くするため、案内サインの足元に空間を設けることも検討しましょう。

言語表記への配慮



日本語と英語の2種類表記の事例
【那覇市内】



5種類の多言語表記の事例
【那覇市内】

【ユニバーサルデザインフォントによる視認性の向上】

シンプルなデザインに配慮



判別しやすく空間を確保



那覇市公共サイン計画(平成26年3月 那覇市都市計画部 都市デザイン室)より



ピクトグラムの事例



「著名地点道路案内標識マニュアル(案)道路標準ピクトグラム」



「著名地点道路案内標識マニュアル(案)道路標準ピクトグラム」を活用した事例【那覇市内】

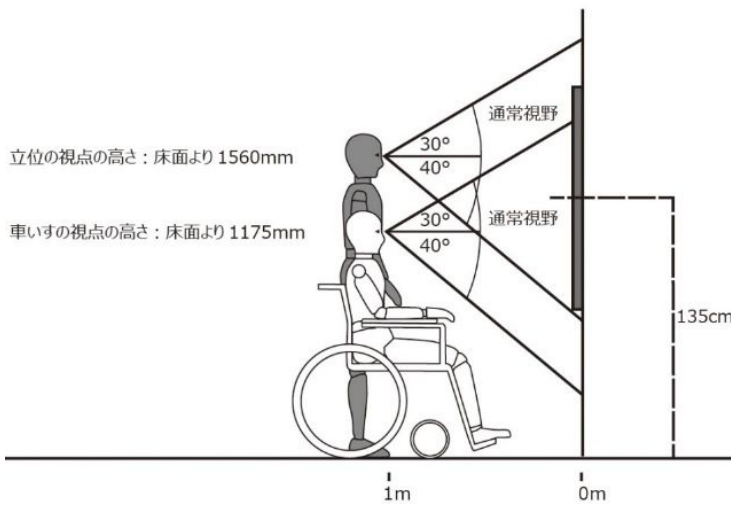


「標準案内用図記号のピクトグラム」
標準案内用図記号ガイドライン
((公財)交通エコロジー・モビリティ財団)より



「標準案内用図記号のピクトグラム」を活用した事例【那覇市内】

車いす利用者に配慮したサイン



「バリアフリー整備ガイドライン(旅客施設編)」国土交通省 より



足元に空間を設け、車いす利用者でも近づくことができるように配慮したサインの事例【那覇市:久米至聖廟前】



車いす利用者の方も見やすいように配慮された案内サインの事例
左【富山県:富岩運河環水公園】 右【東京都:十条駅前】

公共コラム

色彩への配慮

【主な見づらい色の組み合わせ】

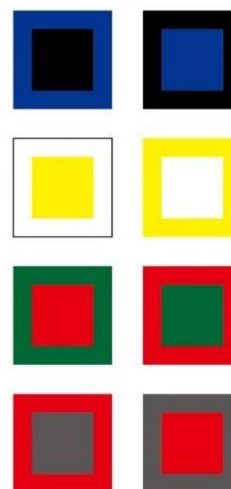


色彩については、図と地のコントラストを強くするなど視認性を高めるとともに、高齢者や色弱者、視覚障がい者に配慮することが重要です。

「青と黒」、「黄と白」、「緑と赤」、「灰と赤」などの組み合わせは、見づらい色となります。

色弱者の見え方は、赤が茶に見えたり、青が緑に見えたりするなど、色の組み合わせ次第では区別が付けにくいことが考えられます。そのことから、視認性の高い色彩の組み合わせに配慮することが重要です。

また、図を作成する際には、【色のシミュレータ（フリーアプリ）】を使用し確認するなどの配慮に努めましょう。



公共コラム

公共サインの維持管理



沖縄では常に強烈な陽光にさらされ、海風による塩害を受け、その上毎年台風を経験するという厳しい気候環境下にあるため、部材の腐食、ゆるみ、亀裂などが発生している可能性があります。

また、手入れをしなければ、汚れや色あせ等で見えにくくなり、まちや通りの景観を損ねることに繋がります。

そのため、日常的に意識して点検を行い、危険な兆候を見つけた場合は早急に取り換えを行いましょう。定期的なメンテナンスを行うことで、公共サインの効果を持続することに繋がります。





5-2 統一性への配慮

デザインのPoint

- ◆ 様々な形状のサインがあるため、統一感のあるデザインとしましょう。

デザインが統一された案内サインの事例



現在地を中心に広域から周辺までの案内サインを設置し、デザインが統一されている事例
【福岡県：博多駅】



「地域案内図」「凡例」を掲示した案内サインの事例
【那覇市：久米至聖廟前】



「地域案内図」「凡例」を掲示した案内サインの事例
【那覇市：パレットくもじ前】

デザインが統一された誘導サインの事例



「誘導施設名称」「方向」が掲示され、デザインが統一されたサインの事例【那覇市：松尾】



「誘導施設名称」「方向」が掲示され、デザインが統一されたサインの事例【那覇市：若狭海浜公園前】



5-3 伝統的な素材の活用

デザインのPoint

- ◆ 首里や壺屋など歴史的な地域においては、石材や赤瓦、陶器など自然素材や地場産の素材を活用しましょう。

石材を活用した事例



石材とともに壺屋焼きを活用したサインの事例
【那覇市：壺屋】



石材を活用した事例
【那覇市：首里崎山町】



琉球石灰岩を活用した事例
【那覇市：那覇市ぶんかテンブス館前】

木材を活用した事例



支柱等に木材を活用した事例
【糸満市：喜屋武公園】



土台部分に木材を活用した事例
【那覇市：壺屋焼物博物館】

那覇市都市景観審議会にて計3回の審議を経て作成しています。

那覇市都市景観審議会(第15期)

委員名簿

任期:2017年(平成29年)3月14日~2019年(平成31年)2月28日

No.	委員氏名	所属・役職
1	下地 芳郎【会長】	琉球大学 国際地域創造学部 教授
2	宮城 哲	当山法律事務所 琉球大学 法科大学院 教授
3	赤嶺 雅	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部 デザイン工芸学科 教授
4	島田 潤	株式会社 デザインネットワーク 代表取締役
5	上原 昭男	琉球漆器事業協同組合 理事長 琉球うるし工芸有限会社 代表取締役
6	宮城 謙二	あけもどろ緑の会 会長 有限会社 宮城錦水園 代表取締役
7	久高 多美子	株式会社 東設計工房 専務取締役
8	玉那覇 通男	沖縄振興開発金融公庫 企画調査部長
9	知念 弘聡	株式会社 沖縄文化環境研究所 副所長
10	波平 エリ子	沖縄女子短期大学 総合ビジネス学科 准教授
11	木下 能里子	株式会社 国建 地域計画部 首席研究員(部長)
12	望月 拓郎	内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 企画調整官
13	嘉川 陽一	沖縄県 土木建築部 建築都市統括監
14	永吉 英	沖縄県広告美術協同組合 理事長 有限会社 エーツーサイン 代表取締役
15	大城 弘明	一般社団法人 那覇市観光協会 事務局長

参考文献

- 第5次那覇市総合計画(平成 29 年 12 月)
- 那覇市景観計画(平成 23 年 5 月)
- 那覇市景観計画 景観ガイドライン(平成 24 年 3 月)
- 那覇市屋外広告物ガイドライン(平成 25 年 3 月)
- 那覇市タウンカラースタンダード(平成 15 年 3 月)
- 那覇市公共サイン計画(平成 26 年 3 月)
- 那覇市サインデザインマニュアル(平成 29 年 3 月)
- 那覇市建築デザインマニュアル(平成 29 年 3 月)
- 那覇市自転車ネットワーク計画 基本計画編(平成 30 年 3 月)
- 那覇市土木デザインマニュアル(平成 2 年 3 月)
- イラストによる都市景観のまとめ方(昭和 59 年 9 月)
著:ディーター・プリンツ 訳:小幡 一 発行:井上書院
- 道路緑化技術基準・同解説(平成 28 年 3 月) 公益社団法人 日本道路協会
- 景観に配慮した道路附属物等ガイドライン(平成 29 年 11 月) 一般財団法人 日本みち研究所
- 補訂版 道路のデザイン(平成 29 年 11 月) 一般財団法人 日本みち研究所
- 都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂版】(平成 24 年 3 月) 国土交通省
- 造園施工管理技術編(平成 23 年 4 月) 一般社団法人 日本公園緑地協会
- GREEN+INFRASTRUCTURE REPORT 「自然の力を、都市のちからに」グリーンインフラの時代へ
(平成 29 年 7 月) 編集:一般社団法人 グリーンインフラ総研 発行:東邦レオ(株)
- ふるさとの川をつくり育てる ふるさとの川整備事業事例集(平成 12 年 6 月)
財団法人リバーフロント整備センター
- 標準案内用図記号ガイドライン 改訂版(平成 29 年 7 月)
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- バリアフリー整備ガイドライン【旅客施設編】(平成 30 年 7 月) 国土交通省

※那覇市公共デザインマニュアルの事例写真について

那覇市公共デザインマニュアルで使用している事例写真については、那覇市内の事例を主としていますが、より良い事例を紹介するため、県内外の他市町村等の事例を一部活用しています。また、現状に即した最新の整備事例を紹介するため、事例写真の追加等も、今後行っていく予定です。

みんなで継承みんなでつくる亜熱帯庭園都市なはの景観

那覇市公共デザインマニュアル

1990(平成2)年3月策定(土木デザインマニュアル)

2019(平成31)年2月改定

那覇市 都市みらい部 都市計画課 都市デザイン室

